

## 2 広報・広聴

### 問14 広報活動の周知度

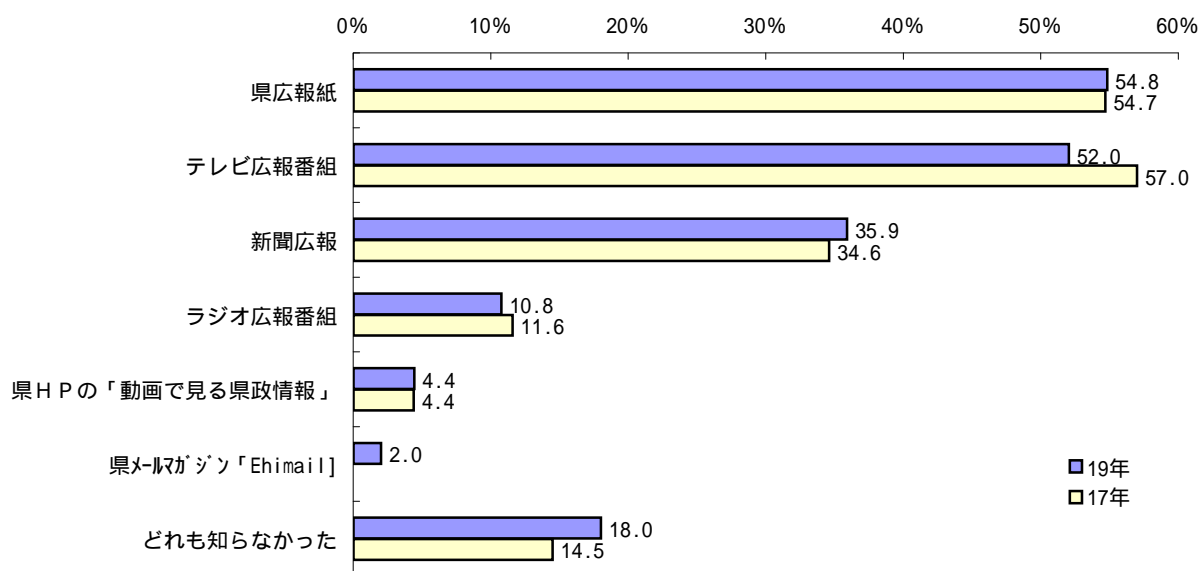
県では、次のような広報を行っていますが、あなたが知っているものをいくつか選んで番号を で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 テレビ広報番組 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔愛!愛!!えひめ(南海放送)</li> <li>〔愛媛なんでも県聞録(テレビ愛媛)</li> </ul>		52.0
2 県広報紙：県民だより「さわやか愛媛」 (新聞折り込みによる広報紙)		54.8
3 ラジオ広報番組 <ul style="list-style-type: none"> <li>〔県政FM情報(FM愛媛)</li> <li>〔週刊さわやか愛媛(南海放送ラジオ)</li> </ul>		10.8
4 県メールマガジン 「Ehimail(エメール)」		2.0
5 県ホームページの「動画で見る県政情報」		4.4
6 新聞広報		35.9
7 どれも知らなかった		18.0

(「2 県広報紙：県民だより「さわやか愛媛」及び「4 県メールマガジンEhimail」は今回調査から)

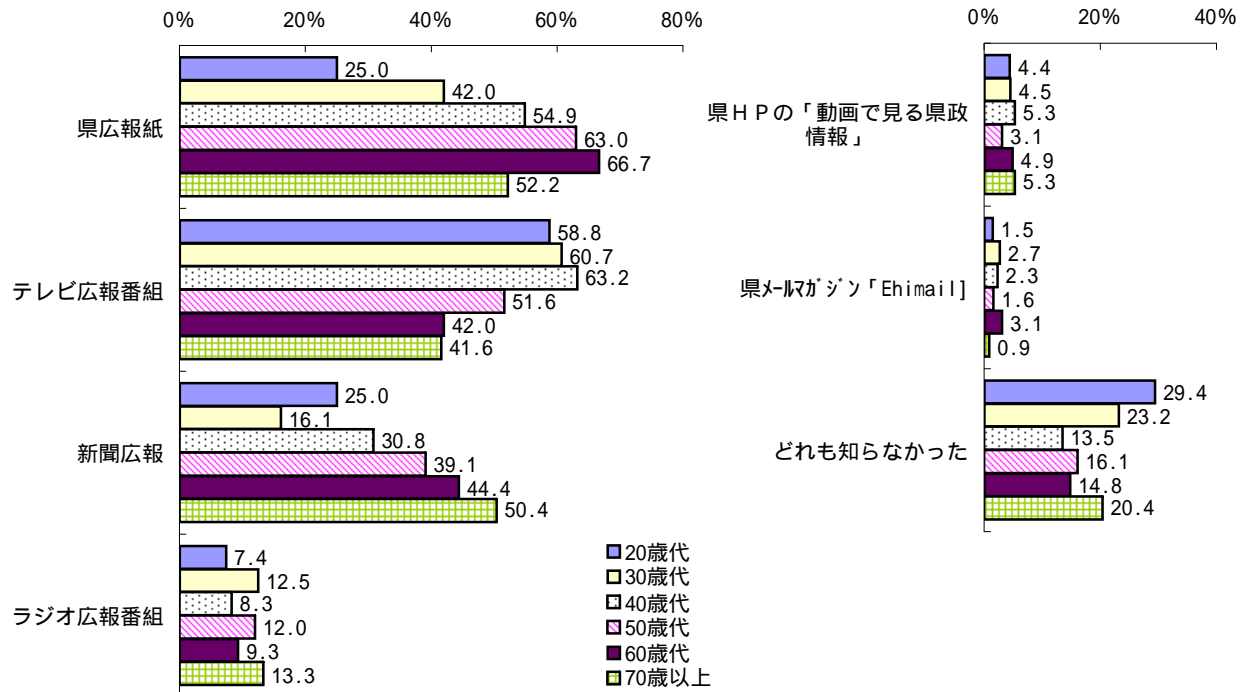
県が行っている広報活動のうち、知っているものを聞いたところ、「県広報紙」(54.8%)、「テレビ広報番組」(52.0%)や「新聞広報」(35.9%)と答えた人の割合が特に高く、以下「ラジオ広報番組」(10.8%)「県HPの動画情報」(4.4%)の順となっている。

前回調査と比べ、テレビ広報番組は5.0ポイント、ラジオ広報番組は0.8ポイント、それぞれ減少した。なお、18年度から配信しているメールマガジン「Ehimail」は、2.0%であった。



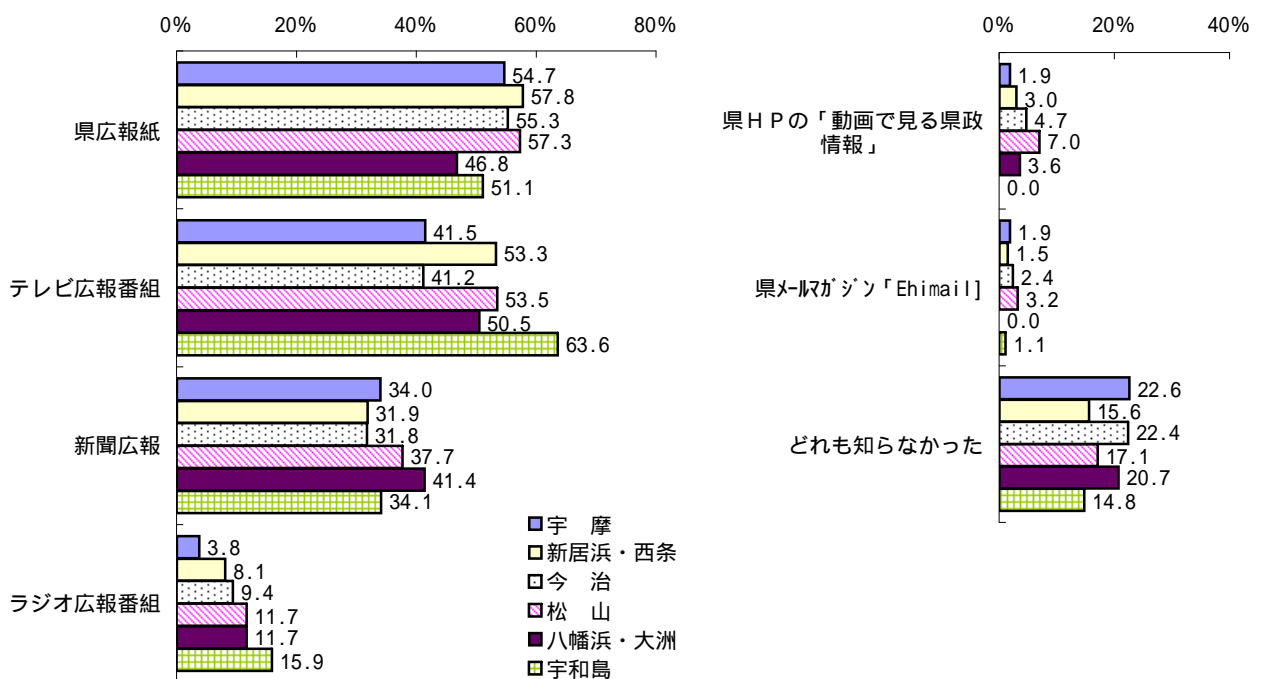
【年齢別】

年齢別にみると、20～40歳代では「テレビ広報番組」と答えた人の割合が多く、50歳代以上では「県広報紙」が多い。また、「県広報紙」では50歳代(63.0%)、60歳代(66.7%)、「テレビ広報番組」では40歳代(63.2%)、「新聞広報」では70歳以上(50.4%)で他の年齢層と比較して特に多くなっている。  
 なお、「どれも知らなかった」と答えた人の割合は、20歳代、30歳代で高くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、八幡浜・大洲及び宇和島圏域では「テレビ広報番組」と答えた人の割合が、その他の圏域では「県広報紙」が最も多くなっている。  
 また、「新聞広報」は八幡浜・大洲圏域、「ラジオ広報番組」は宇和島圏域、「動画で見る県政情報」は松山圏域で、他の圏域と比較して多くなっている。



### 問15 テレビ広報番組の視聴経験

ところで、次にあげる県のテレビ広報番組で、あなたをご覧になったことがあるものをいくつか選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

- |   |                                       |      |
|---|---------------------------------------|------|
| 1 | 愛!愛!!えひめ(南海放送)<br>毎週日曜日 21:54~22:00   | 31.8 |
| 2 | 愛媛なんでも県聞録(テレビ愛媛)<br>毎週木曜日 21:54~22:00 | 28.8 |
| 3 | どれも見たことがない                            | 52.4 |

《テレビ広報番組を見ての感想》 (N = 346) (%)

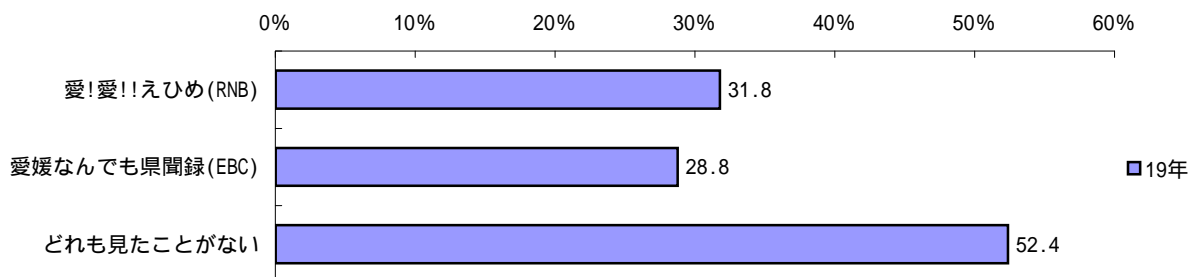
- |   |                          |      |
|---|--------------------------|------|
| 1 | 番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった  | 24.0 |
| 2 | 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった  | 46.0 |
| 3 | 番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい | 13.6 |
| 4 | 番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい   | 11.8 |
| 5 | その他                      | 4.6  |

《「どれも見たことがない」理由》 (N = 372) (%)

- |   |                             |      |
|---|-----------------------------|------|
| 1 | 放送されていることを知らなかった            | 57.8 |
| 2 | 仕事の都合などで、現在の放送時間では見ることができない | 18.3 |
| 3 | 広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない   | 12.9 |
| 4 | その他                         | 11.0 |

(設問「テレビ広報番組を見ての感想」は今回調査から)

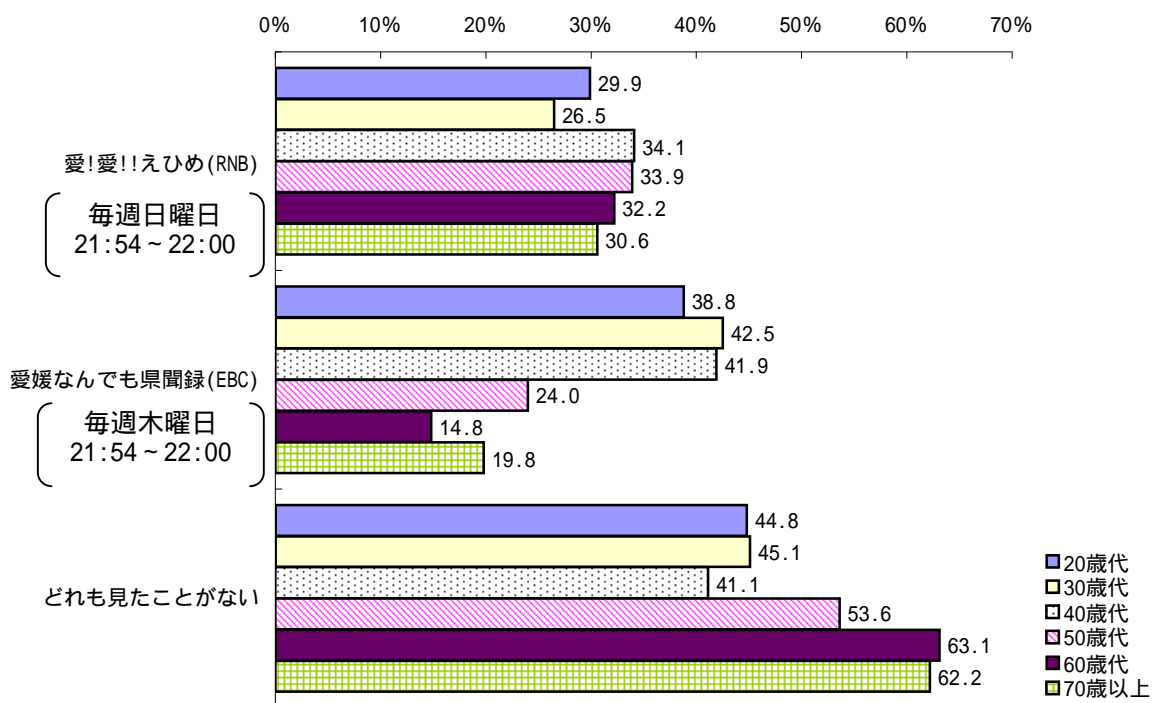
県のテレビ広報番組のうちで、見たことがあるものを聞いたところ、「愛!愛!!えひめ(南海放送)」は31.8%、「愛媛なんでも県聞録(テレビ愛媛)」が28.8%となっている。  
また、「どれも見たことがない」は52.4%と、前回調査より7.7ポイント多くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、「愛！愛！！えひめ」と答えた人の割合は40～50歳代、「愛媛なんでも県聞録」は20～40歳代で高くなっている。

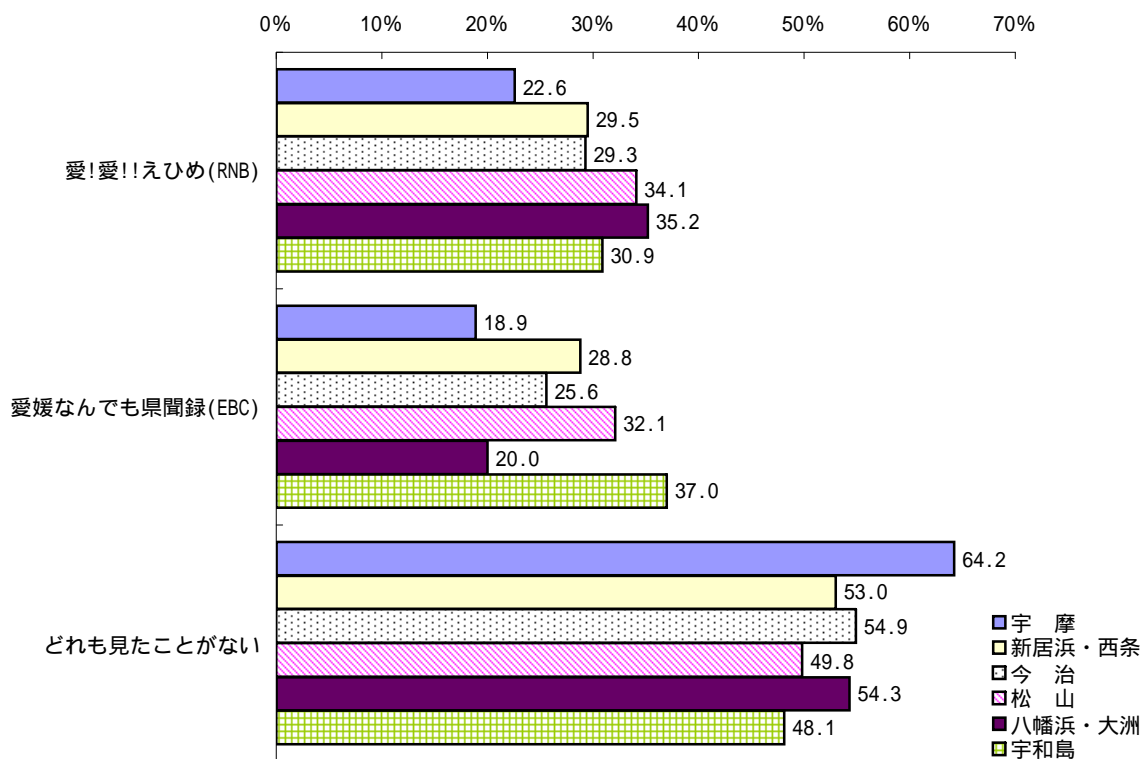
また、「どれも見たことがない」と答えた人の割合は、60歳代（63.1%）で最も高くなっている。



### 【生活圏域別】

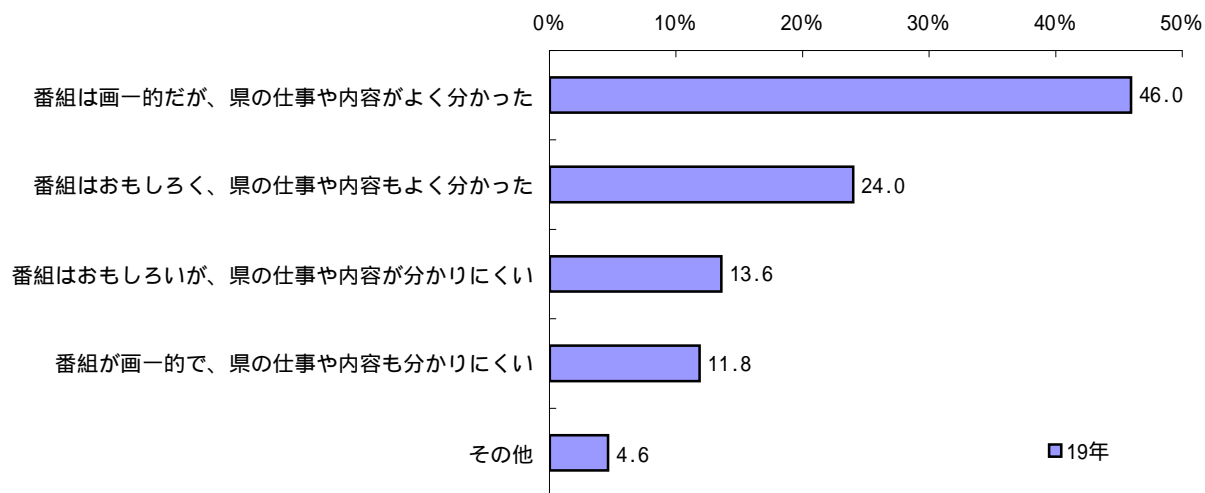
生活圏域別にみると、「愛！愛！！えひめ」と答えた人の割合は松山及び八幡浜・大洲圏域で、「愛媛なんでも県聞録」は松山及び宇和島圏域で高くなっている。

また、「どれも見たことがない」と答えた人の割合は、宇摩圏域（64.2%）で高くなっている。



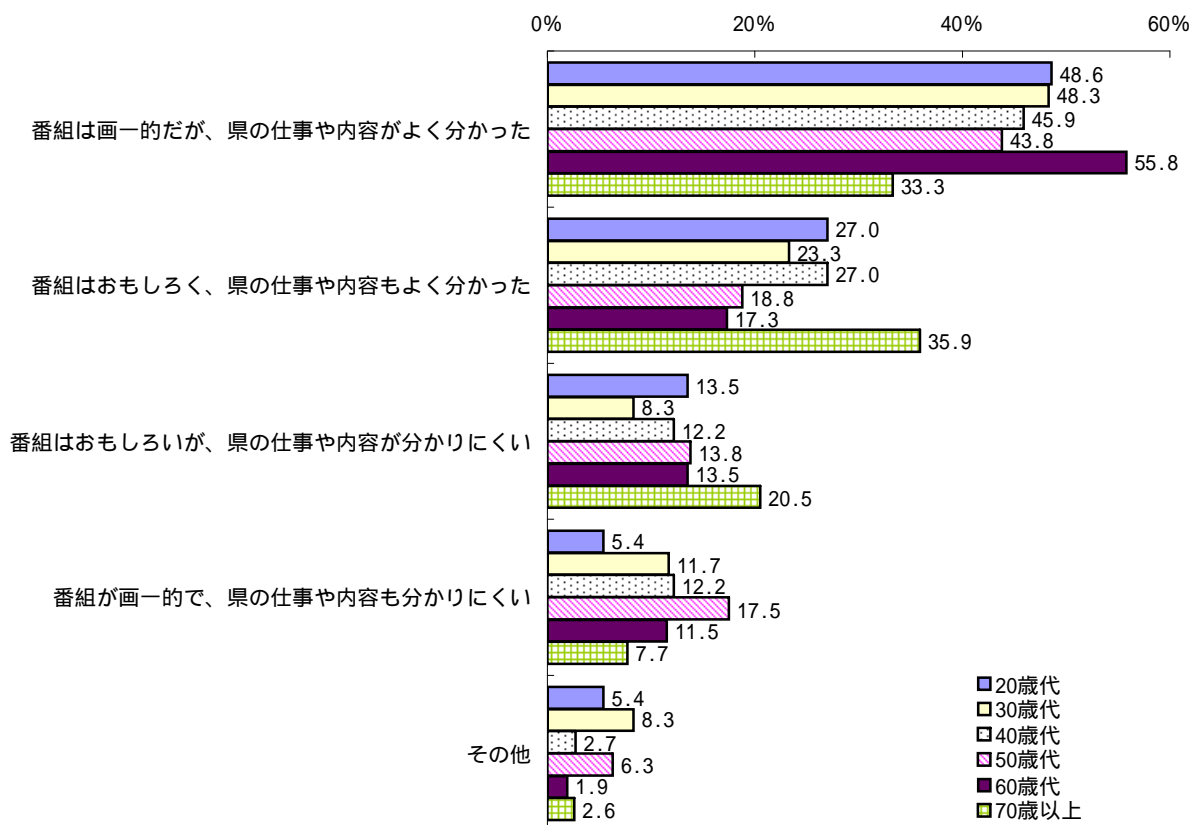
### 【テレビ番組を見ての感想】

県のテレビ広報番組を見たことがあると答えた人に、その感想を聞くと、「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」が46.0%で最も高く、次いで「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」（24.0%）、「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」（13.6%）となっている。



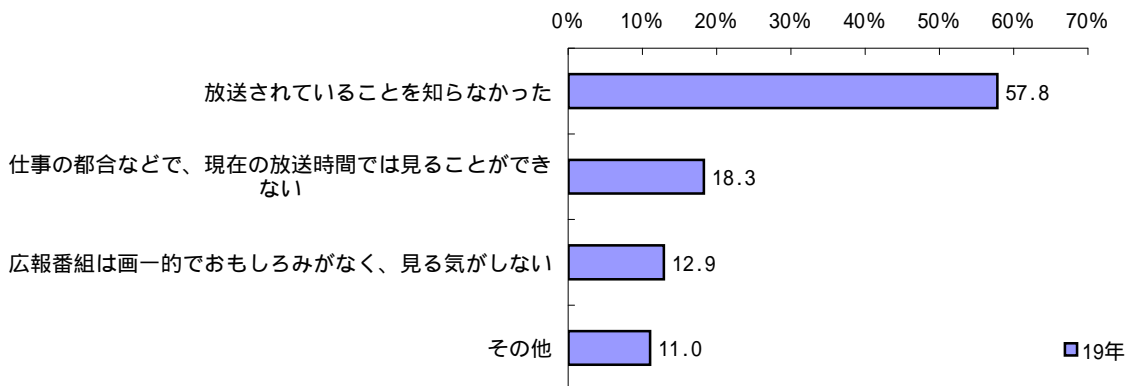
### 【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以下では「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が最も多く、70歳以上では「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」が最も多くなっている。



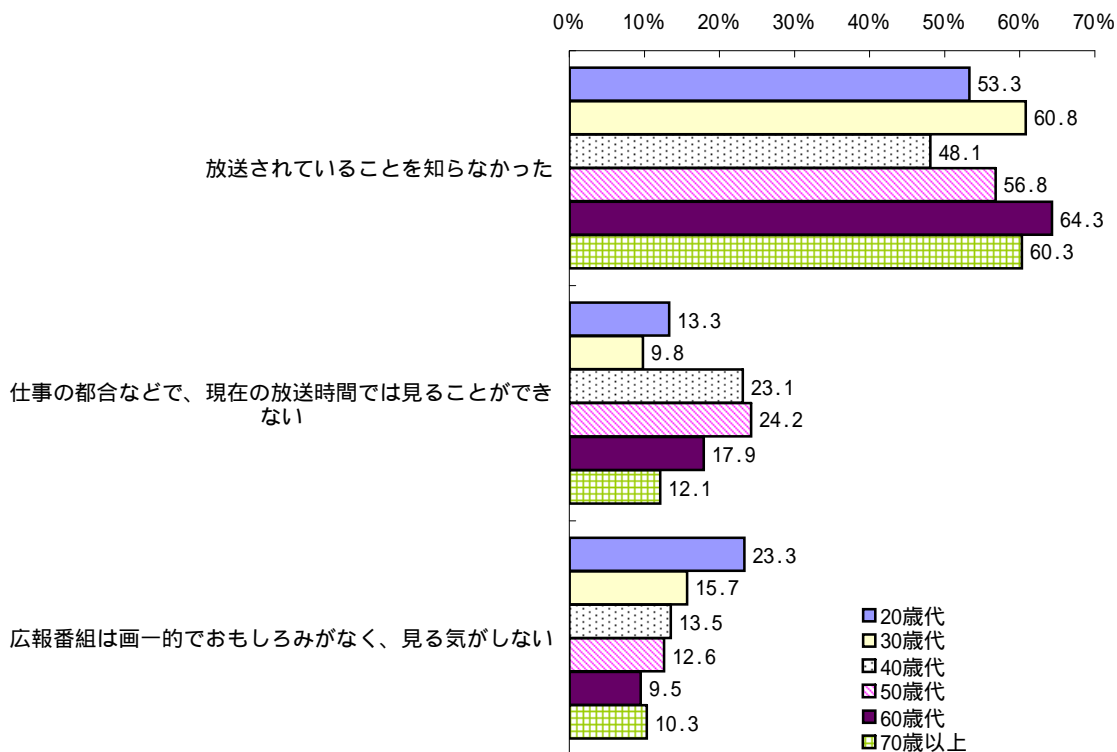
### 《見たことがない理由》

県のテレビ広報番組を「どれも見たことがない」と答えた人に、その理由を聞くと、「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が57.8%と最も高く、次いで「仕事の都合などで、現在の放送時間では見ることができない」（18.3%）となっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年代で「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が最も高くなっている。また、「仕事の都合などで、現在の放送時間では見ることができない」は40歳代（23.1%）、50歳代（24.2%）、「広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない」は20歳代（23.3%）で、他の年代と比較して高くなっている。



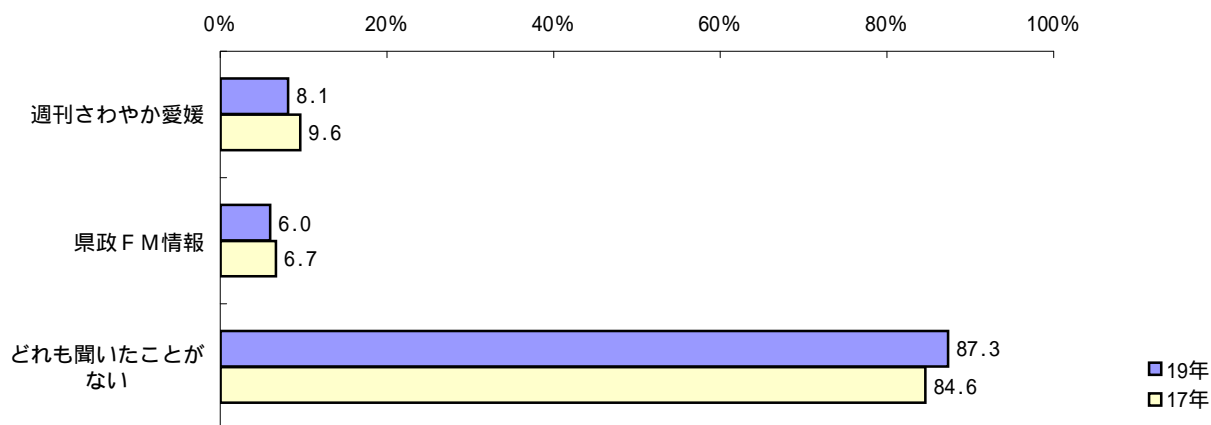
問16 ラジオ広報番組の聴取経験

では、次にあげる県のラジオ広報番組であなたがお聞きになったことがあるものをいくつか選んで番号を で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 県政FM情報 (FM愛媛) 毎週月～金曜日 11:54～11:55		6.0
2 週刊さわやか愛媛 (南海放送ラジオ) 毎週日曜日 9:45～9:55		8.1
3 どれも聞いたことがない		87.3
《ラジオ広報番組を聞いての感想》 (N = 91) (%)		
1 番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった		25.3
2 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった		36.3
3 番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい		19.8
4 番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい		13.2
5 その他		5.5
《「どれも聞いたことがない」理由》 (N = 610) (%)		
1 放送されていることを知らなかった		53.0
2 仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない		20.5
3 広報番組は画一的でおもしろみがなく、聞く気がしない		4.4
4 その他		22.1

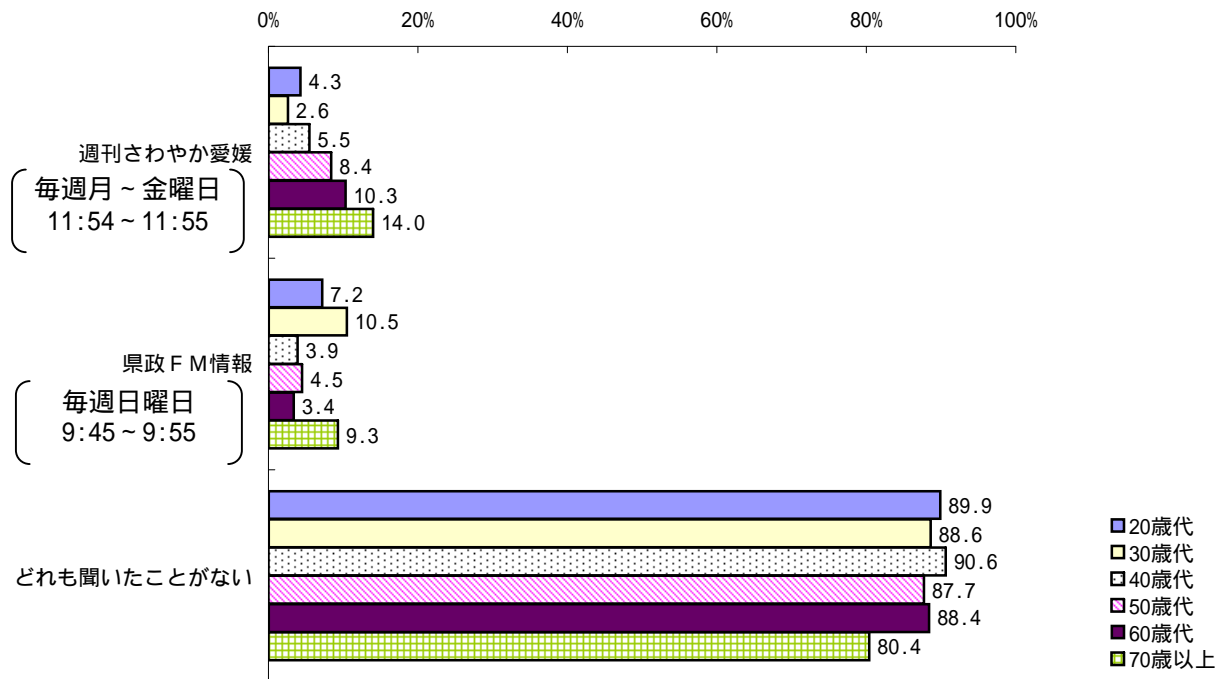
(設問「ラジオ広報番組を聞いての感想」は今回調査から)

県のラジオ広報番組のうちで、聞いたことがあるものについて聞いたところ、「週刊さわやか愛媛」が8.1%、「県政FM情報」が6.0%となっており、前回調査と比較すると、それぞれ1.5ポイント、0.7ポイント減少している。



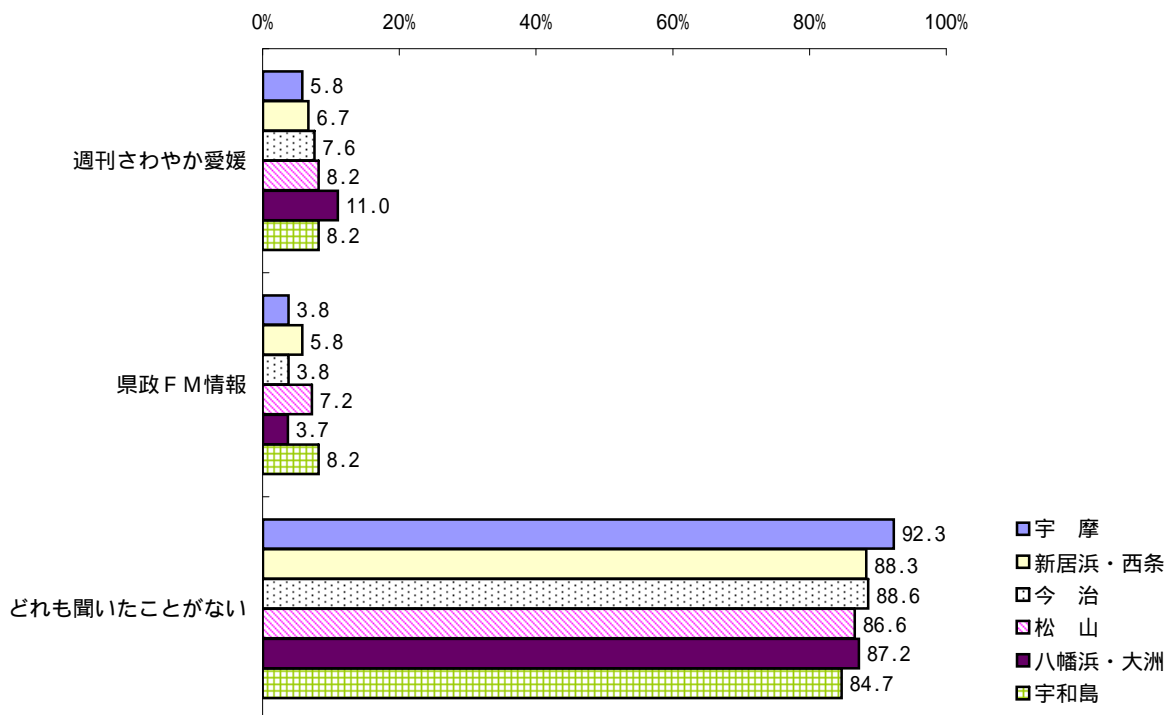
【年齢別】

年齢別にみると、「週刊さわやか愛媛」は概ね年齢が上がるほど、聞いたことがあると答えた人の割合が多くなっている。一方、「県政FM情報」は30歳代及び70歳以上で、他の年齢層に比べて聞いたことがある人の割合が多い。



【生活圏域別】

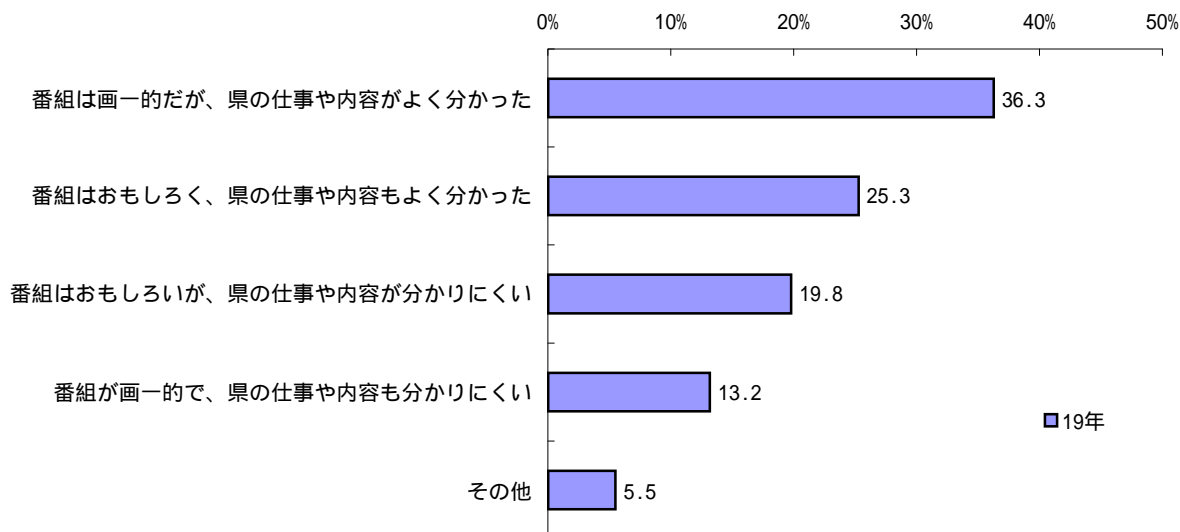
生活圏域別にみると、「県政FM情報」を聞いたことがあると答えた人の割合は宇和島圏域(8.2%)で、「週刊さわやか愛媛」は八幡浜・大洲圏域(11.0%)で最も高くなっている。





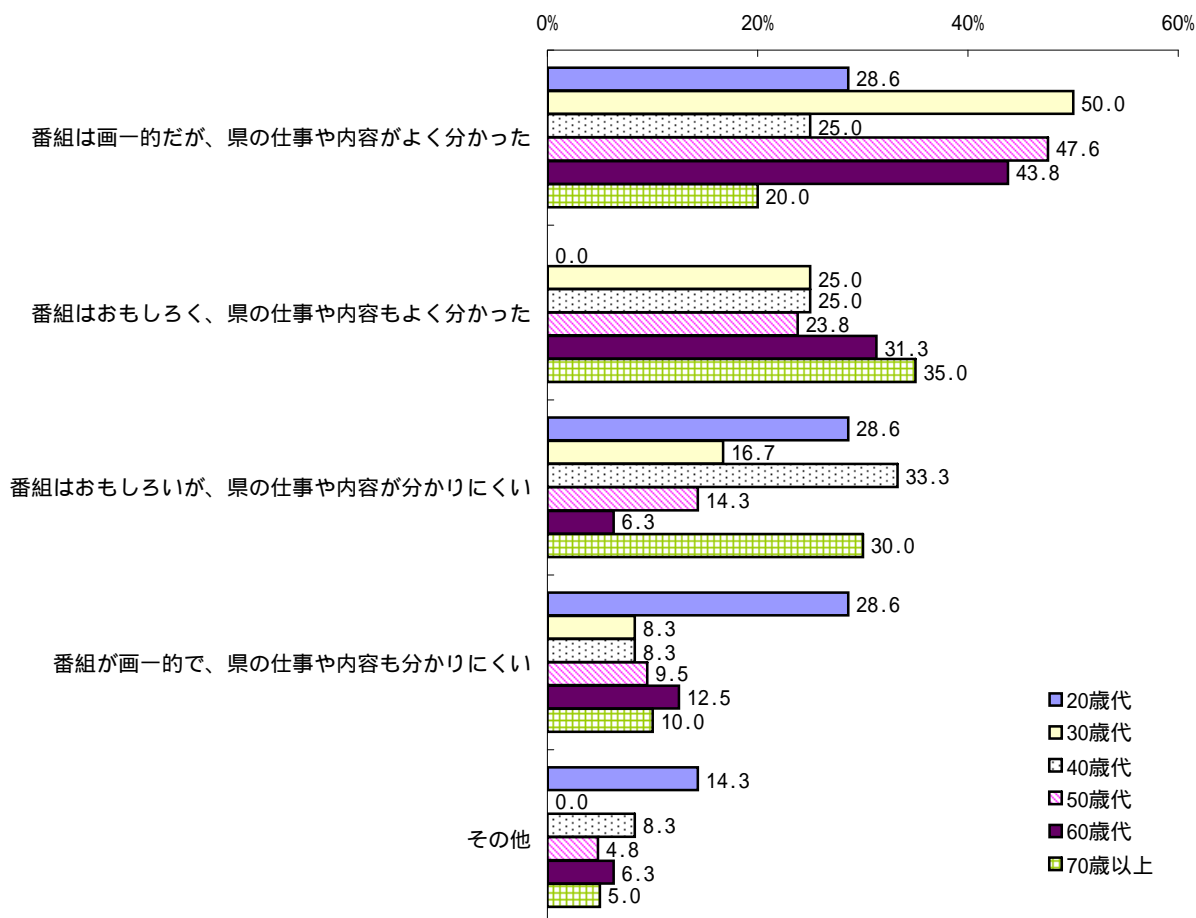
### 《ラジオ番組を聞いての感想》

県のテレビ広報番組を聞いたことがある人に、その感想を聞くと、「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」が36.3%で最も高く、次いで「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」（25.3%）、「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」（19.8%）となっている。



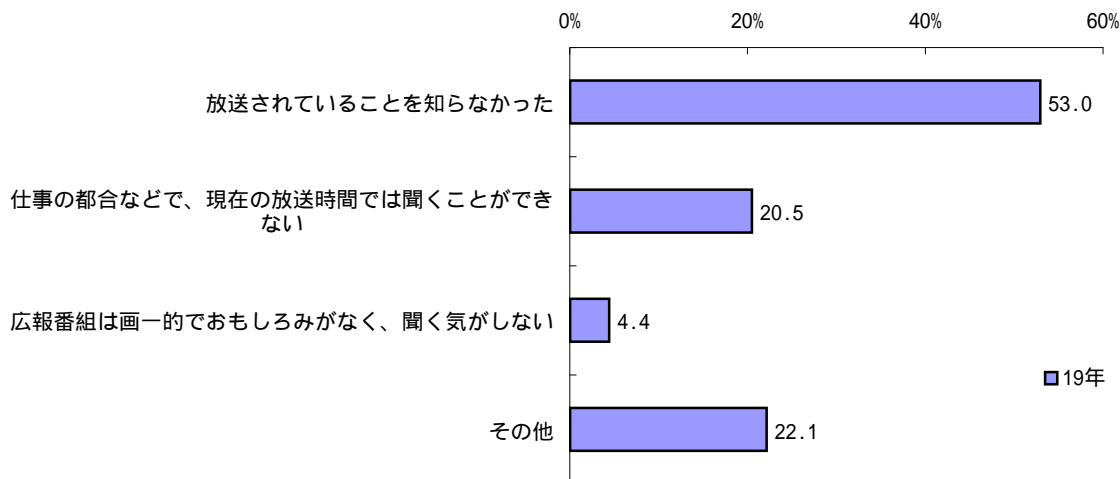
### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代、50歳代及び60歳代では「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が多くなっている。また、40歳代では「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」が多く、20歳代では「県の仕事や内容が分かりにくい」が57.2%となっている。



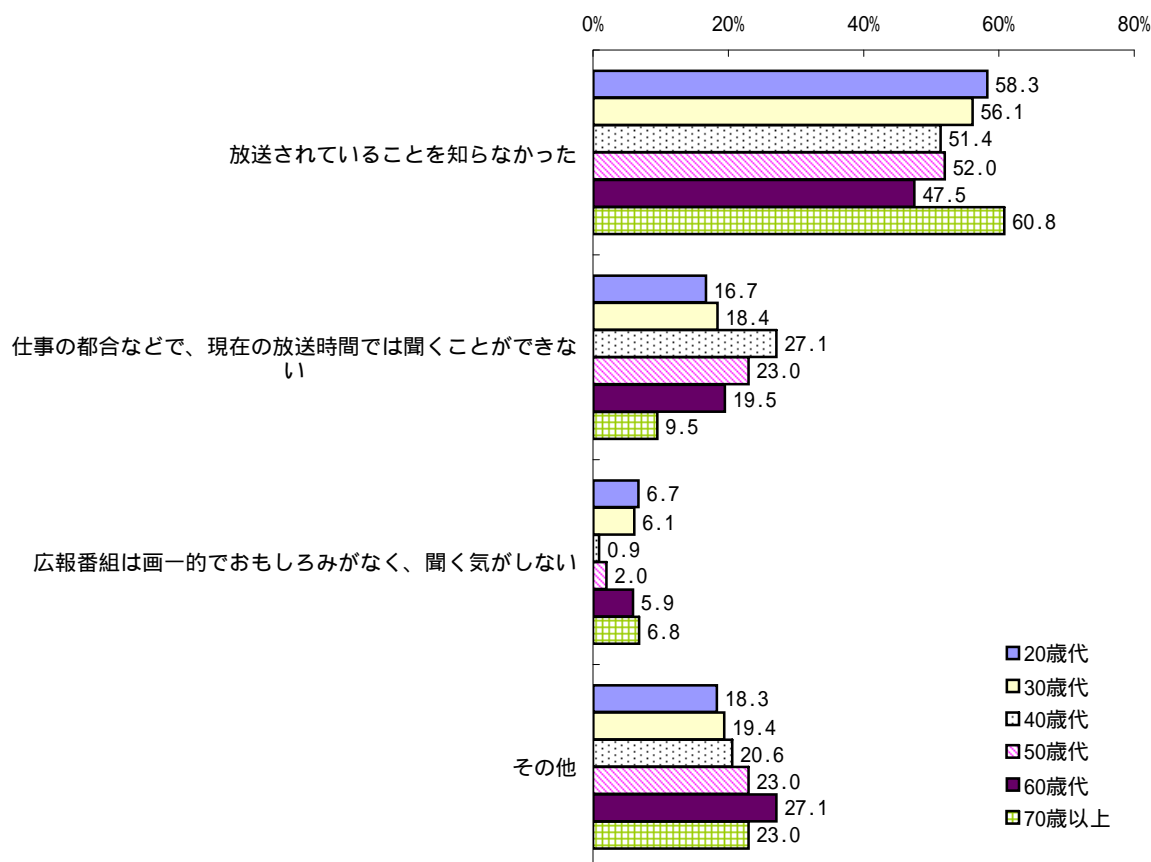
### 《聞いたことがない理由》

県のラジオ広報番組を「どれも聞いたことがない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が53.0%で特に高く、次いで「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」（20.5%）となっている。



### 【年齢別】

年齢別に見ると、全ての年代で「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が最も高くなっている。また、60歳代以下では「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」も高くなっている。



問17 県民だよりの周知度

県では、県政の様々な情報を県民の皆さんにお知らせするため、年間10回、県民だよりに「さわやか愛媛」を発行し、新聞折り込みで各ご家庭に直接お届けしています。

あなたは、この県民だよりをご存じでしたか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

		( % )
1	知っていた	68.4
2	知らなかった	31.6

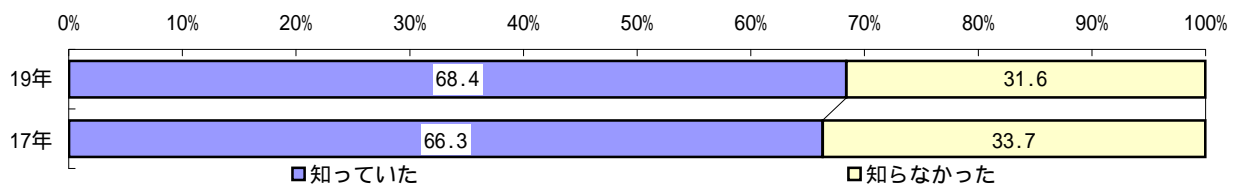
それでは、あなたは、この県民だよりをどの程度読んでいますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	( N = 5 3 6 )	( % )
1	全体をよく読んでいる	18.5
2	興味のあるところを選んで読んでいる	48.3
3	見出し程度しか読まない	23.9
4	ほとんど読むことはない	7.8
5	まったく読まない	1.5

	《県民だよりに「さわやか愛媛」を見ての感想》	( N = 4 9 4 )	( % )
1	紙面は見やすく、情報量も適当である		48.6
2	紙面は見づらいが、情報量は適当である		19.2
3	紙面は見やすいが、情報量が少ない		19.2
4	紙面は見づらく、情報量も少ない		3.6
5	その他		9.3

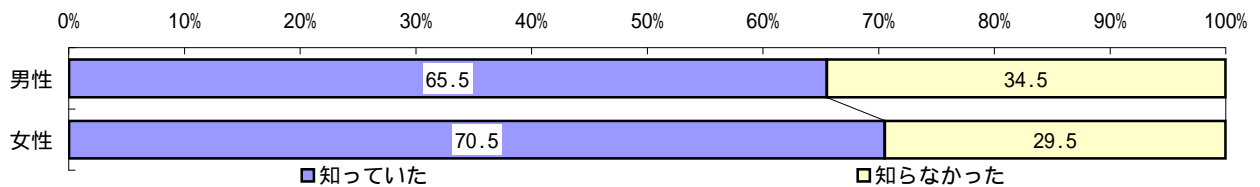
(設問「さわやか愛媛を見ての感想」は今回調査から)

県民だよりに「さわやか愛媛」を知っているかどうかを聞いたところ、「知っていた」と答えた人の割合は68.4%となっており、前回調査に比べ2.1ポイント増加している。



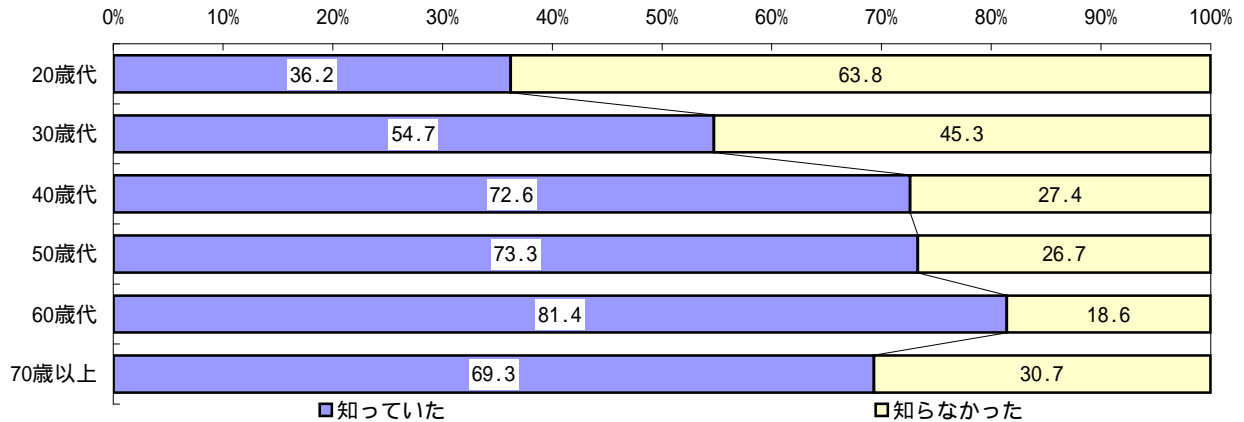
【性別】

性別にみると、県民だよりに「知っていた」と答えた人の割合は、女性(70.5%)が男性(65.5%)より高くなっている。



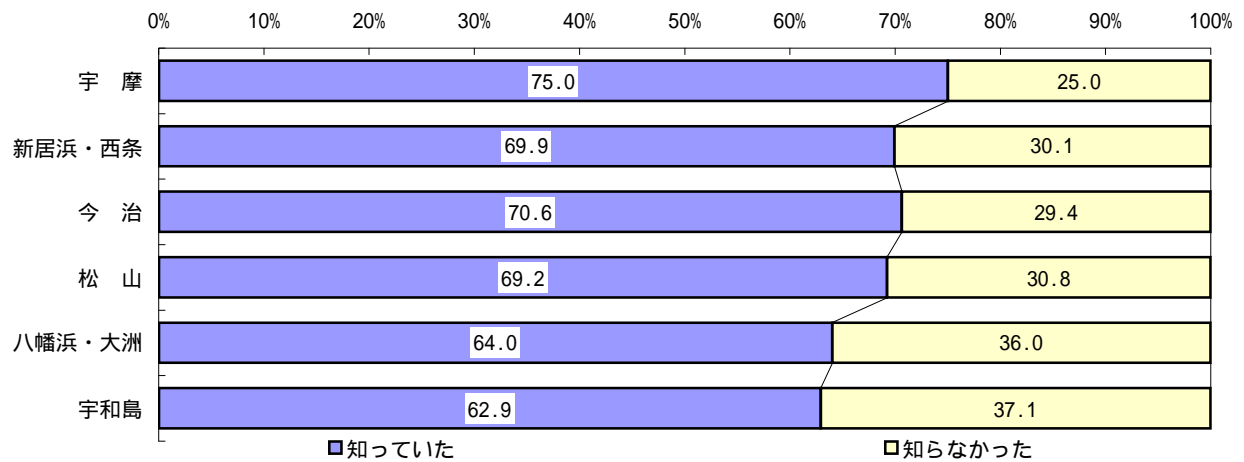
### 【年齢別】

年齢別にみると、県民だよりを「知っていた」と答えた人の割合は、40歳以上で高く、60歳代では81.4%と最も高くなっている。一方、20歳代では「知らなかった」人の方が多い。



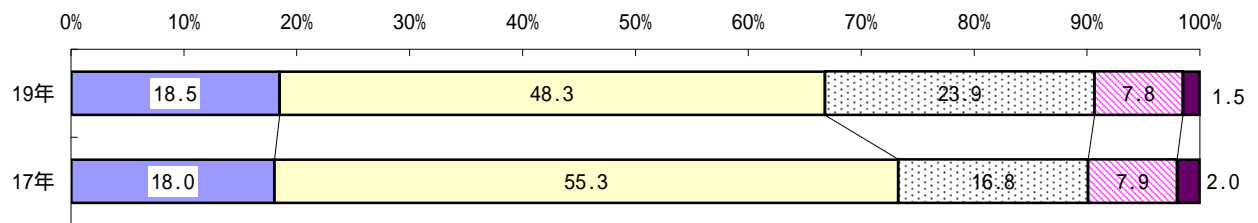
### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、県民だよりを「知っていた」と答えた人の割合は、宇摩圏域（75.0%）で最も高く、八幡浜・大洲圏域（64.0%）や宇和島圏域（62.9%）では低くなっている。



### 《県民だよりへの関心度》

県民だよりを「知っていた」と答えた人に、どの程度読んでいるかを聞いたところ、「全体をよく読んでいる」と答えた人の割合が18.5%、「興味のあるところを選んで読んでいる」と答えた人の割合が48.3%となっており、県民だよりを知っている人の約7割は関心を持って利用していることがうかがえるが、前回調査と比較すると6.5ポイント減少している。

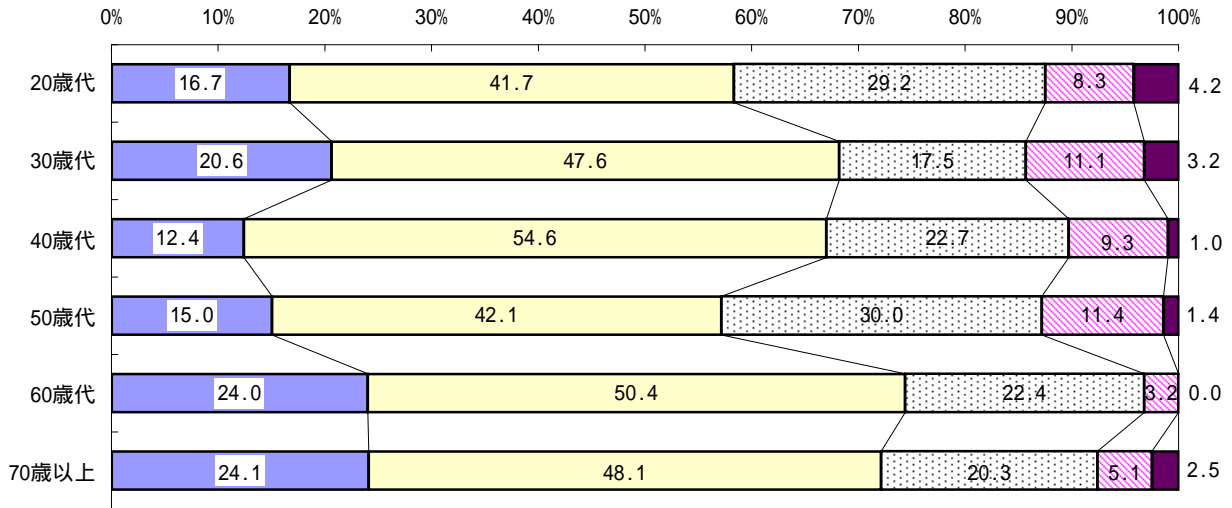


■全体をよく読んでいる □興味のあるところを選んで読んでいる □見出し程度しか読まない □ほとんど読むことはない ■まったく

【年齢別】

年齢別にみると、いずれの年代でも「興味のあるところを選んで読んでいる」と答えた人の割合が高く、特に40歳代で54.6%と最も高い。

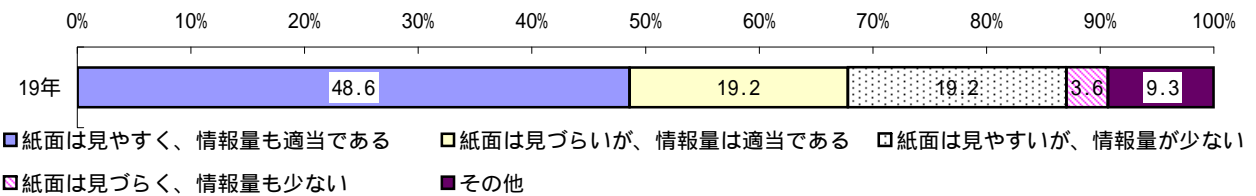
また、「全体をよく読んでいる」と答えた人の割合は60歳代以上で、「見出し程度しか読まない」は20歳代、50歳代で他の年齢層よりも高くなっている。



■全体をよく読む □興味のあるところを選んで読む □見出し程度しか読まない □ほとんど読むことはない ■まったく読まない

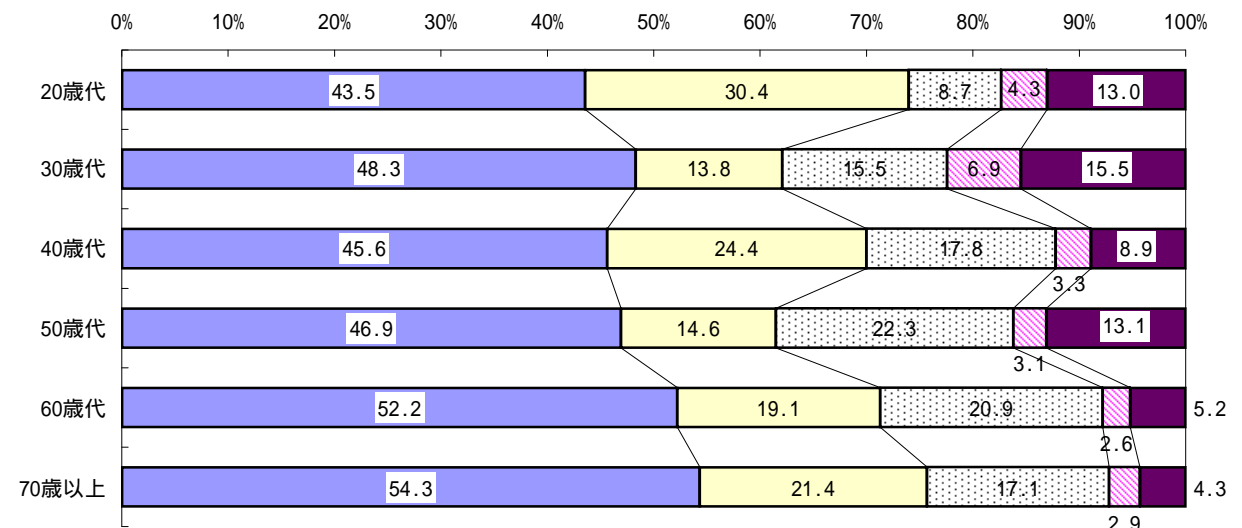
《県民だよりを見ての感想》

県民だよりを見ての感想を聞いたところ、「紙面は見やすく、情報量も適当である」と答えた人の割合が48.6%で最も多く、次いで「紙面は見づらいが、情報量は適当である」及び「紙面は見やすいが、情報量が少ない」（ともに19.2%）、「紙面は見づらく、情報量も少ない」（3.6%）となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「紙面は見やすく、情報量も適当である」と答えた人の割合が最も高くなっている。このほか、「紙面は見づらいが、情報量は適当である」は20歳代(30.4%)、「紙面は見やすいが、情報量が少ない」は50歳代(22.3%)、「紙面は見づらく、情報量も少ない」は30歳代(6.9%)で多くなっている。



■紙面は見やすく、情報量も適当である □紙面は見づらいが、情報量は適当である □紙面は見やすいが、情報量が少ない □紙面は見づらく、情報量も少ない ■その他

## 問18 県政情報の情報源

あなたは、県の仕事や内容を主に何によって知ることが多いですか。次の中から二つまで選んで番号を で囲んでください。

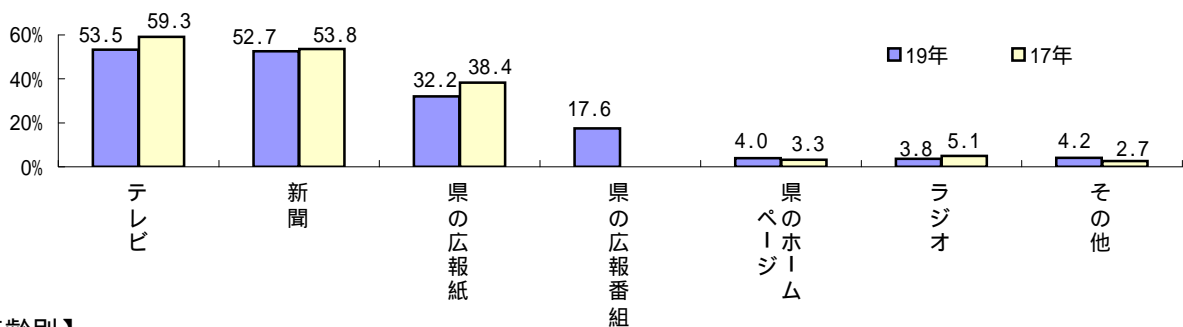
(複数回答) (%)

1	県の広報紙	32.2
2	県の広報番組(テレビ・ラジオ)	17.6
3	新聞	52.7
4	テレビ	53.5
5	ラジオ	3.8
6	県のホームページ(インターネット)	4.0
7	その他	4.2

(2 県の広報番組(テレビ・ラジオ))は今回調査から

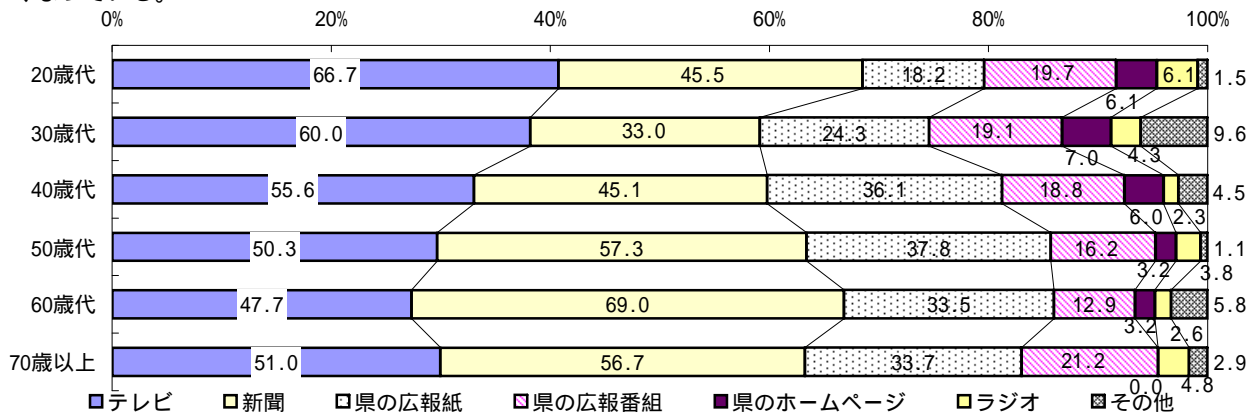
県の仕事や内容をおもに何によって知ることが多いかを聞いたところ、「テレビ」と答えた人の割合が53.5%と最も高く、次いで「新聞」(52.7%)、「県の広報紙」(32.2%)となっており、今回調査から項目を追加した「県の広報番組」は17.6%となっている。

前回調査と比較すると、「県の広報紙」は6.2ポイント、「テレビ」は5.8ポイント減少している。



### 【年齢別】

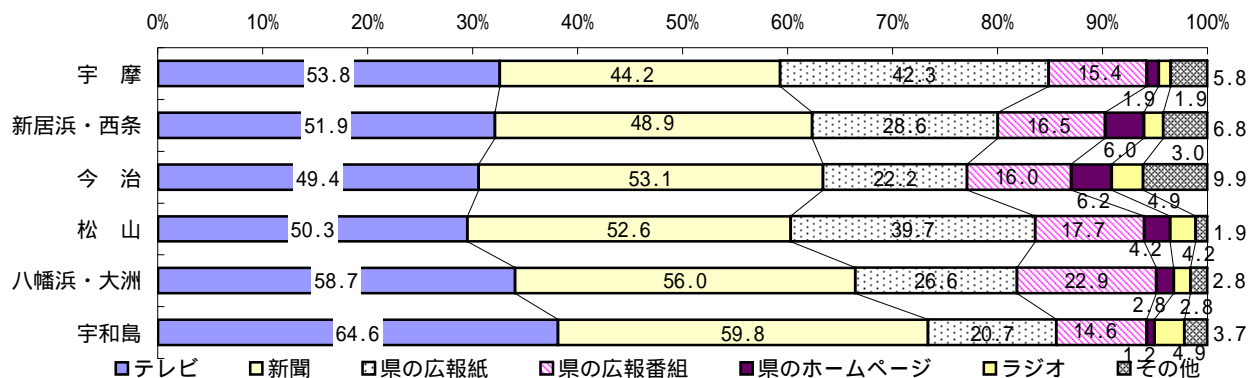
年齢別にみると、20~40歳代では「テレビ」と答えた人の割合が、50歳代以上では「新聞」が多くなっている。また、「県の広報紙」は20歳代(18.2%)、「県の広報番組」は60歳代(12.9%)で、他の年齢層と比較して少なくなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、今治、松山圏域では「新聞」と答えた人の割合が、その他の圏域では「テレビ」が多くなっている。

また、「県の広報紙」と答えた人の割合は、宇摩圏域(42.3%)で、「県の広報番組」は八幡浜・大洲圏域(22.9%)でそれぞれ他の圏域と比較して高くなっている。



### 問19 県政について知りたい情報

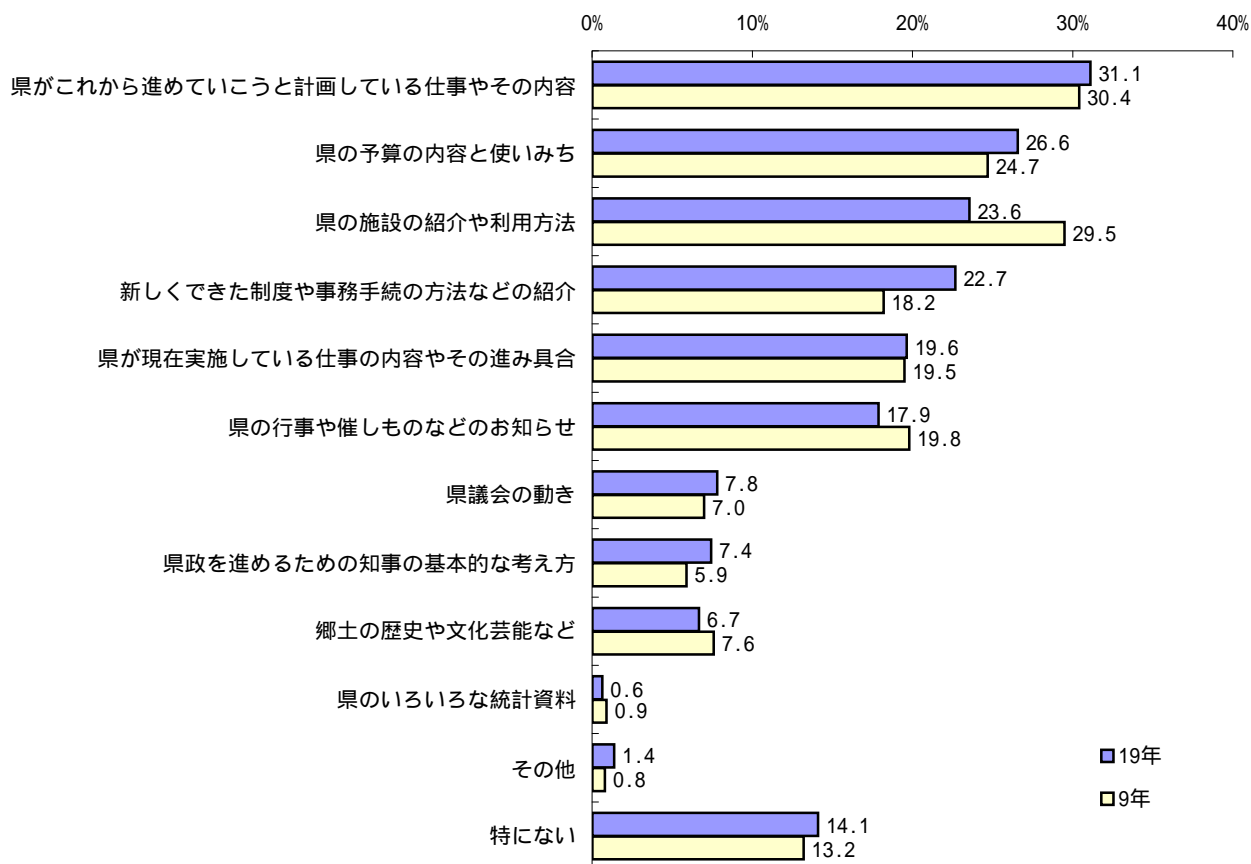
あなたが、県政について日ごろから特に知りたいと思っていることはどのようなことですか。次の中から二つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

1 県議会の動き	7.8
2 県の予算の内容と使いみち	26.6
3 県が現在実施している仕事の内容やその進み具合	19.6
4 新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介	22.7
5 県の施設の紹介や利用方法	23.6
6 県の行事や催しものなどのお知らせ	17.9
7 郷土の歴史や文化芸能など	6.7
8 県のいろいろな統計資料	0.6
9 県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容	31.1
10 県政を進めるための知事の基本的な考え方	7.4
11 その他	1.4
12 特にない	14.1

県政について、日ごろから特に知りたいと思っていることを聞いたところ、「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」と答えた人の割合が31.1%と最も高く、以下「県の予算の内容と使いみち」(26.6%)、「県の施設の紹介や利用方法」(23.6%)、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」(22.7%)などの順となっている。

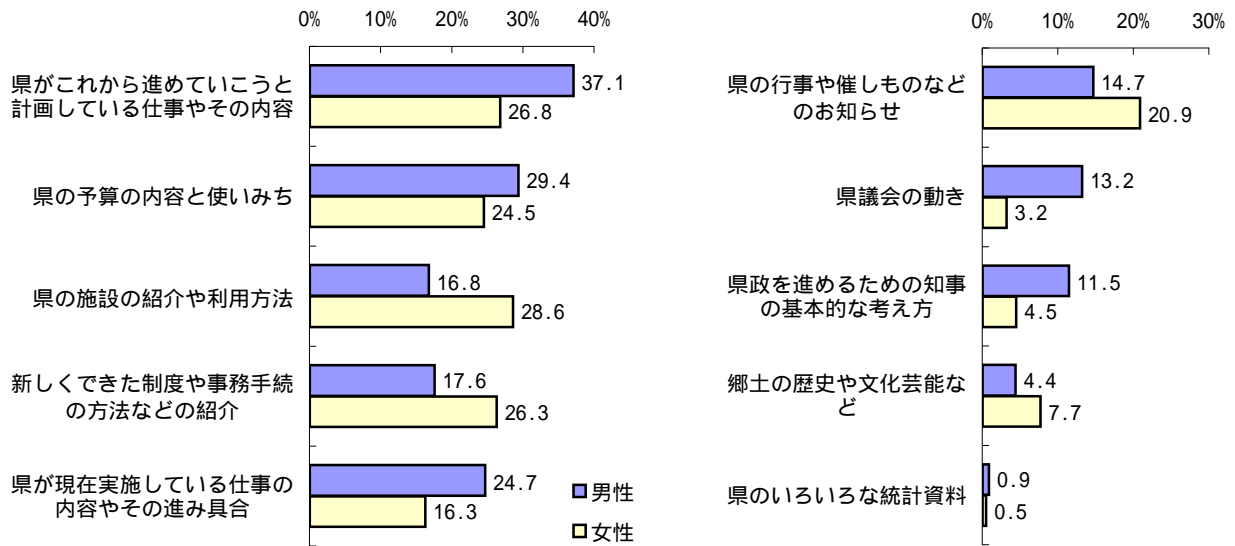
9年調査と比較すると、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」は4.5ポイント増加し、「県の施設の紹介や利用方法」は5.9ポイント、「県の行事や催し物などのお知らせ」は1.9ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男性では「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」と答えた人の割合が、女性では「県の施設の紹介や利用方法」が最も多くなっている。

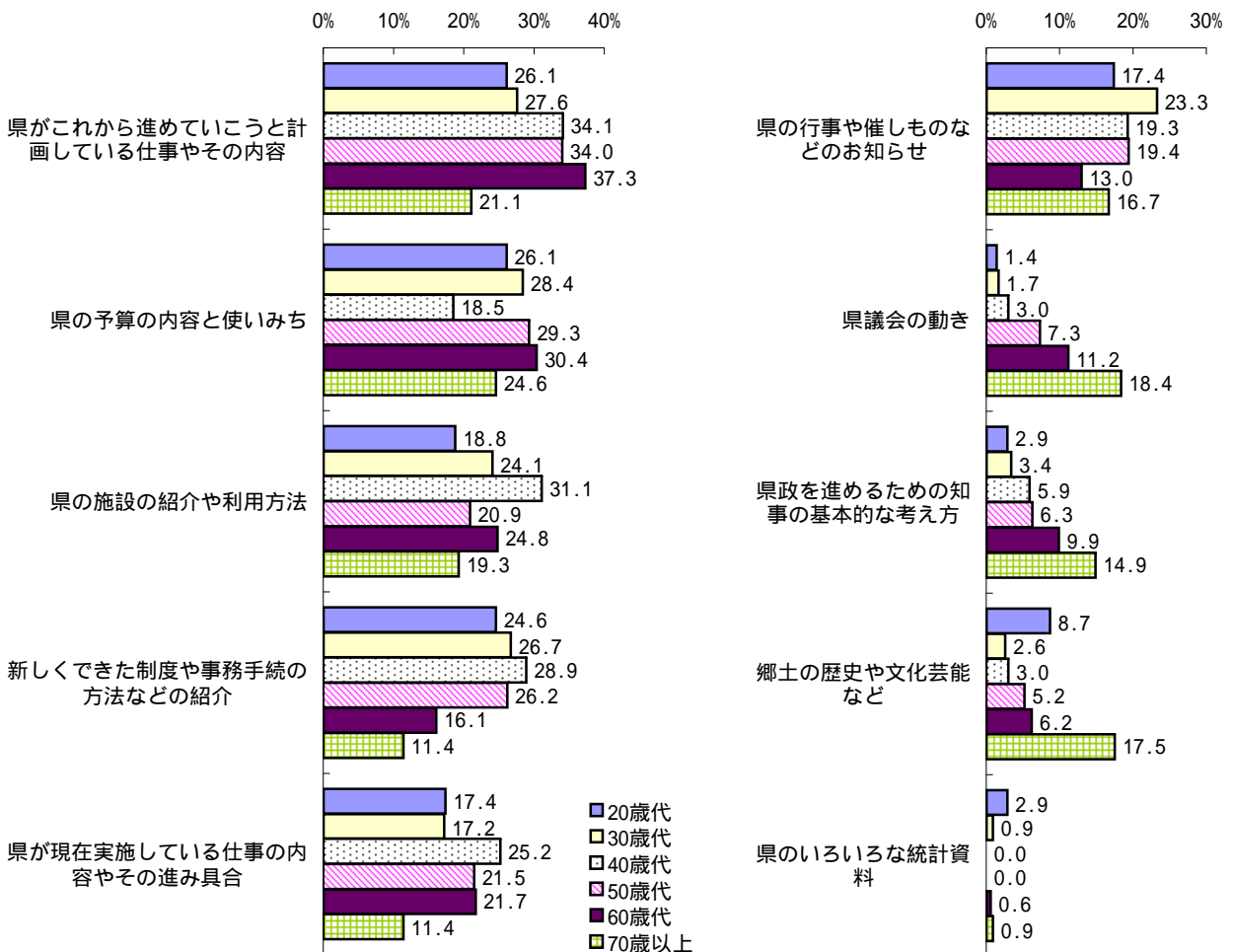
このほか、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」「県の行事や催し物などのお知らせ」は女性で、「県の予算の内容と使いみち」「県が現在実施している仕事の内容やその進み具合」は男性で、それぞれ多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」、「県の予算の内容と使いみち」と答えた人の割合は60歳代で、「県の施設の紹介や利用方法」、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」、「県が現在実施している仕事の内容やその進み具合」は40歳代、「県の行事や催し物などのお知らせ」は30歳代で最も高くなっている。

また、「県議会の動き」「県政を進めるための知事の基本的な考え方」「郷土の歴史や文化芸能など」はいずれも70歳以上で高くなっている。





## 問20 県民の声を県政に反映させる手段

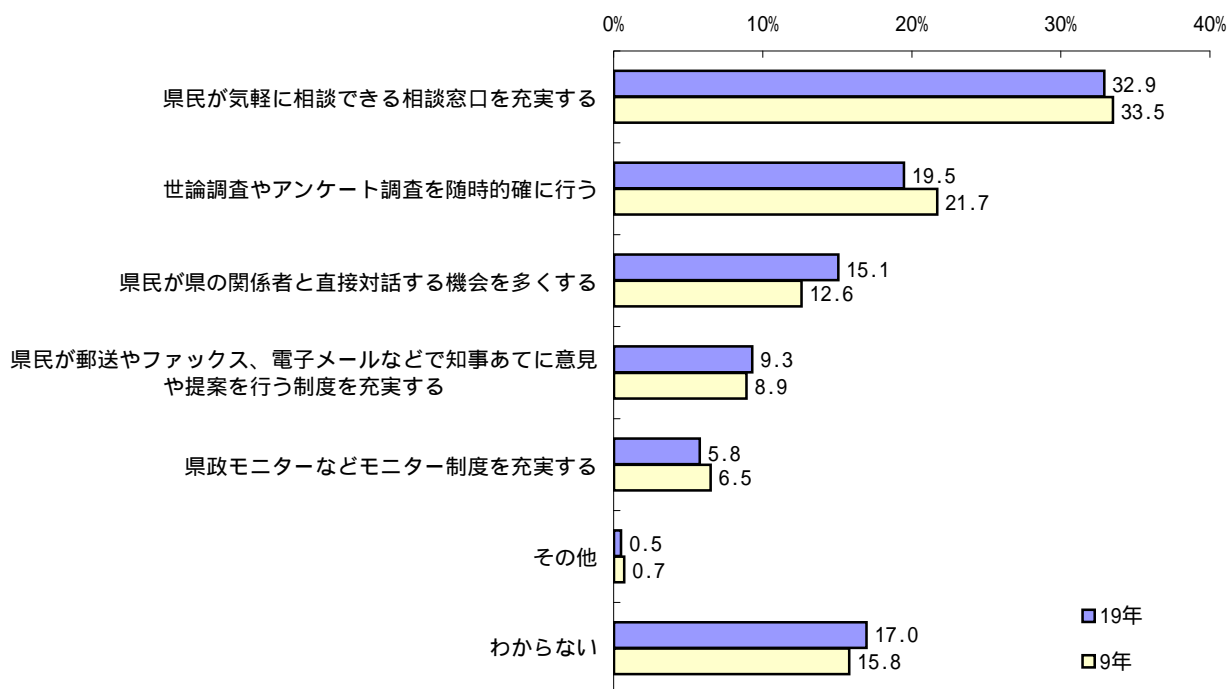
あなたが、県民の意見や要望を県政に反映させる手段として、最も良いと思われるものは何ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

1 世論調査やアンケート調査を随時的確に行う	19.5
2 県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする	15.1
3 県政モニターなどモニター制度を充実する	5.8
4 県民が郵送やファックス、電子メールなどで知事あてに意見や提案を行う制度を充実する	9.3
5 県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する	32.9
6 その他	0.5
7 わからない	17.0

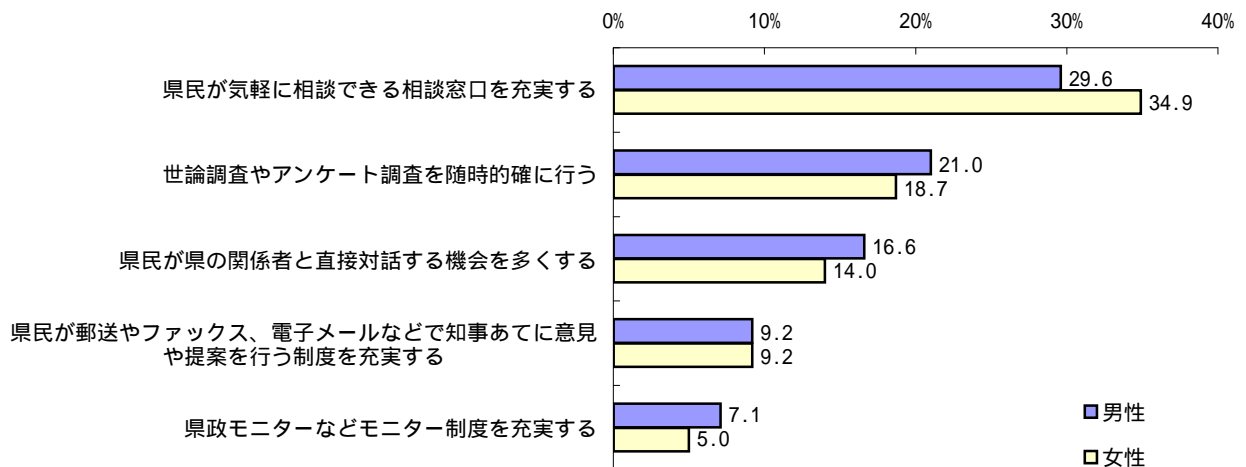
県民の意見や要望を県政に反映させる手段として、最も有効と思われる方法を聞いたところ、「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が 32.9%と最も高く、以下「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」(19.5%)、「県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする」(15.1%)、「県民が郵送やファックス、電子メールなどで知事あてに意見や提案を行う制度を充実する」(9.3%)などの順となっている。

9年調査と比較すると、「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」は2.2ポイント、「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」は0.6ポイント減少し、「県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする」は2.5ポイント増加した。



### 【性別】

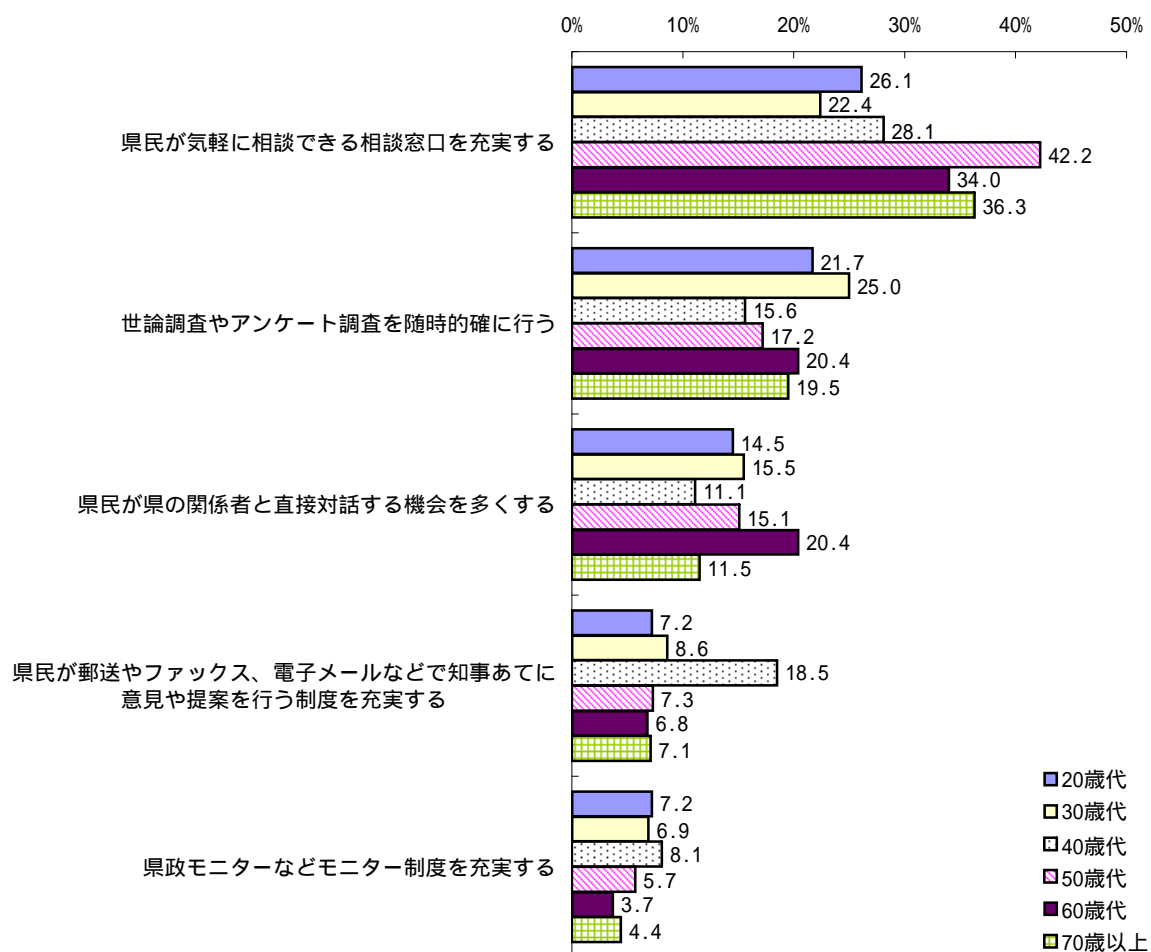
性別にみると、男性・女性ともに「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が最も高くなっており、特に女性で多い。また、「県民が郵送やファックス、電子メールなどで知事あてに意見や提案を行う制度を充実する」は同率、それ以外の項目は男性が女性より高くなっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代を除く全ての年齢層で「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が高くなっており、50歳代で42.2%と最も高くなっている。

また、「世論調査やアンケートを行う」は30歳代(25.0%)で、「県民が県の関係者との直接対話する機会を多くする」は60歳代(20.4%)で、「知事あてに意見や提案を行う制度を充実する」は40歳代(18.5%)で、それぞれ他の年齢層と比較して高くなっている。



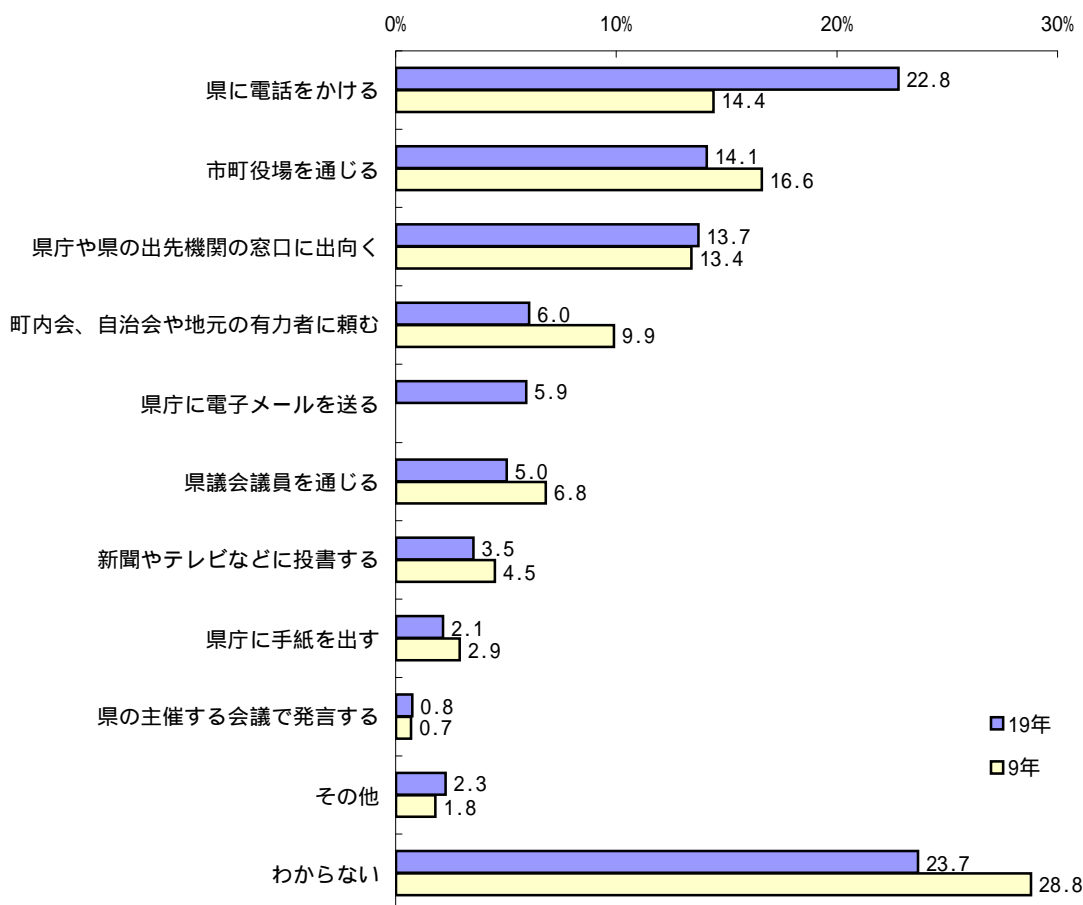
## 問21 県民の声の伝達方法

あなたは、県に意見、要望、苦情を伝えたいとき、どのような方法をとられますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 県庁や県の出先機関の窓口に出向く	13.7
2 県庁に手紙を出す	2.1
3 県庁に電子メールを送る	5.9
4 県に電話をかける	22.8
5 県の主催する会議で発言する	0.8
6 市町役場を通じる	14.1
7 町内会、自治会や地元の有力者に頼む	6.0
8 県議会議員を通じる	5.0
9 新聞やテレビなどに投書する	3.5
10 その他	2.3
11 わからない	23.7

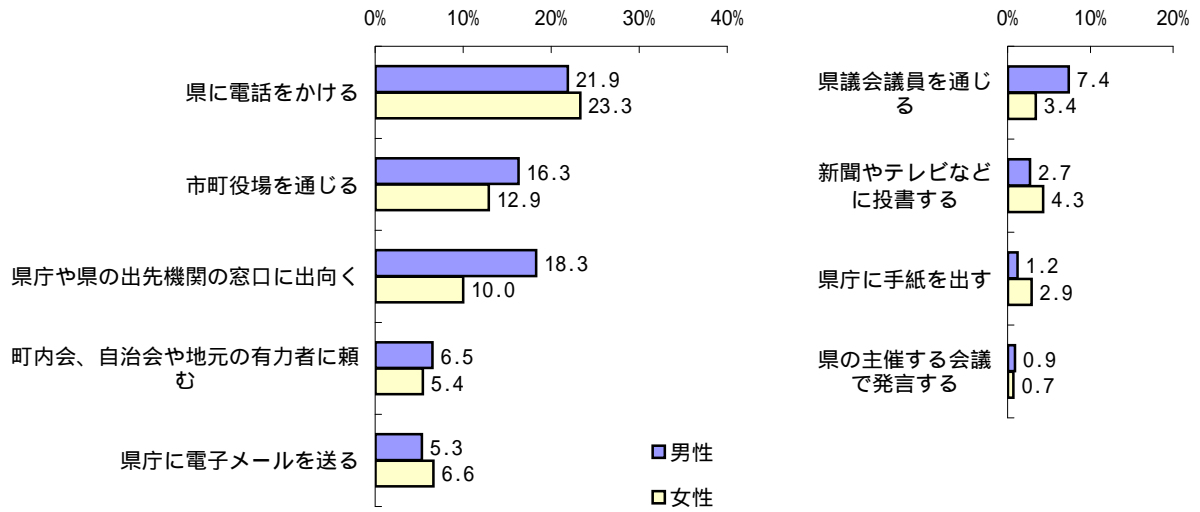
県に意見や要望、苦情を伝えたいとき、どのような方法をとるかを聞いたところ、「県に電話をかける」と答えた人の割合が22.8%と最も高く、以下「市町役場を通じる」(14.1%)、「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」(13.7%)などの順となっている。また、「県庁に電子メールを送る」は5.9%となっている。

9年調査と比較すると、「県に電話をかける」は8.4ポイント増加し、「町内会、自治会や地元の有力者に頼む」は3.9ポイント、「市町役場を通じる」は2.5ポイント減少した。



【性別】

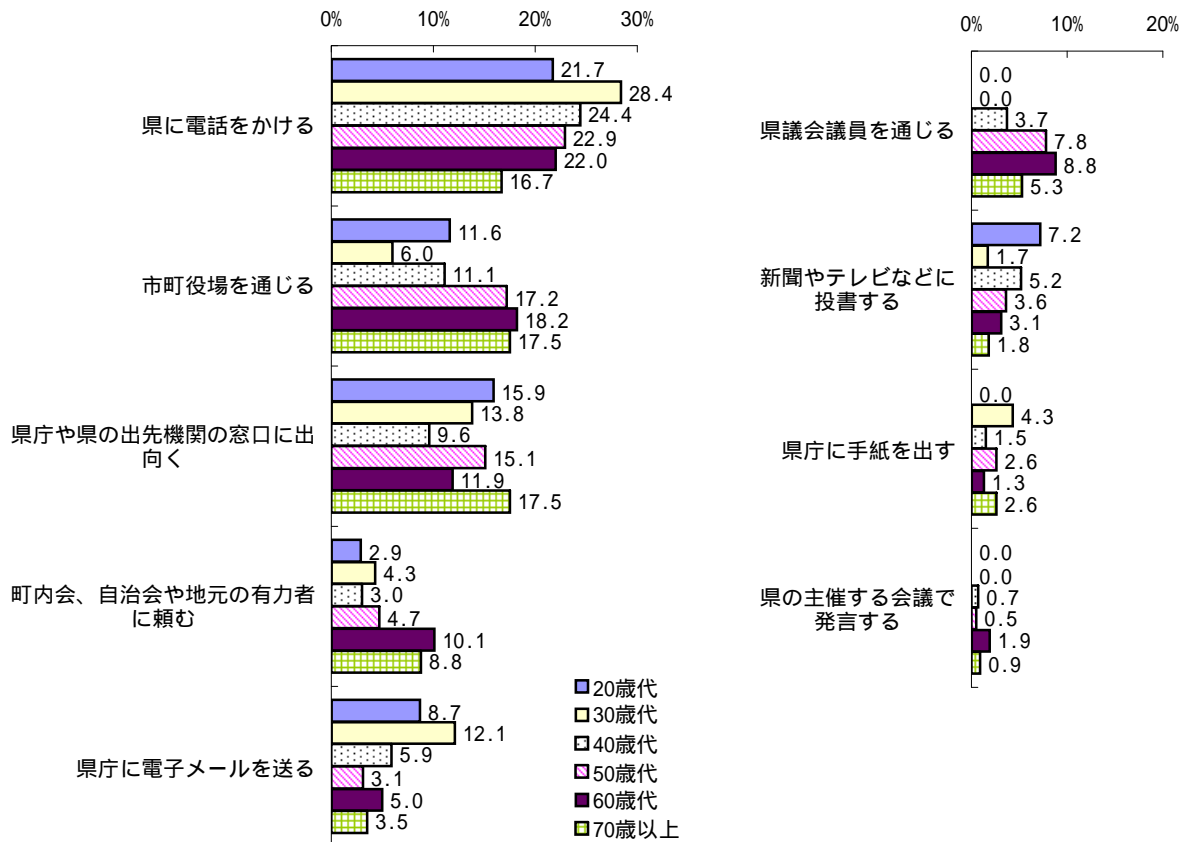
性別にみると、男女とも「県に電話をかける」と答えた人の割合が最も高い。また、「県庁に電子メールを送る」、「新聞やテレビなどに投書する」、「県庁に手紙を出す」と答えた人の割合は女性で、それ以外の項目は男性でそれぞれ高くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上では「市町役場を通じる」、「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」と答えた人の割合が最も高く、その他の年齢層では「県に電話をかける」が高くなっており、30歳代では28.4%と特に高くなっている。

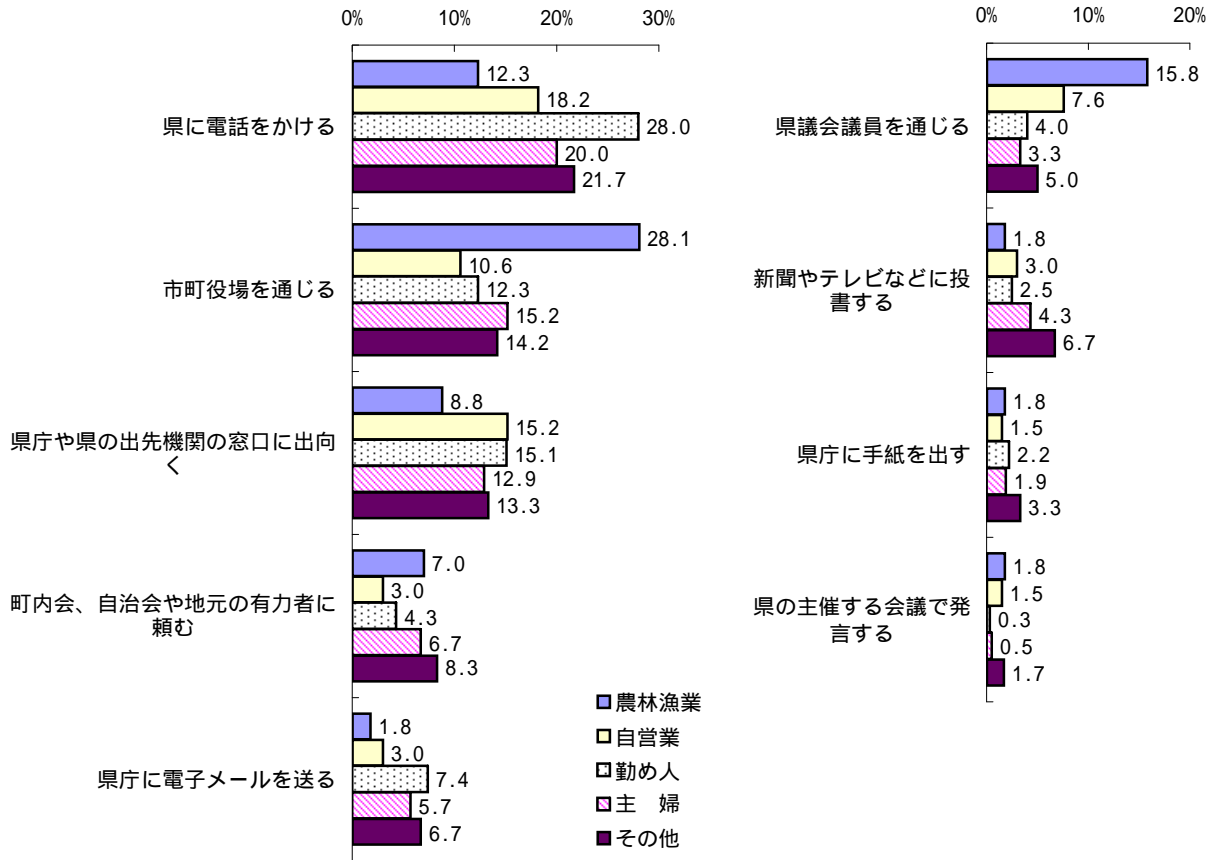
また、30歳代では、「市町役場を通じる」は他の年齢層と比較して低く、「県庁に電子メールを送る」「県庁に手紙を出す」は高くなっている。



【職業別】

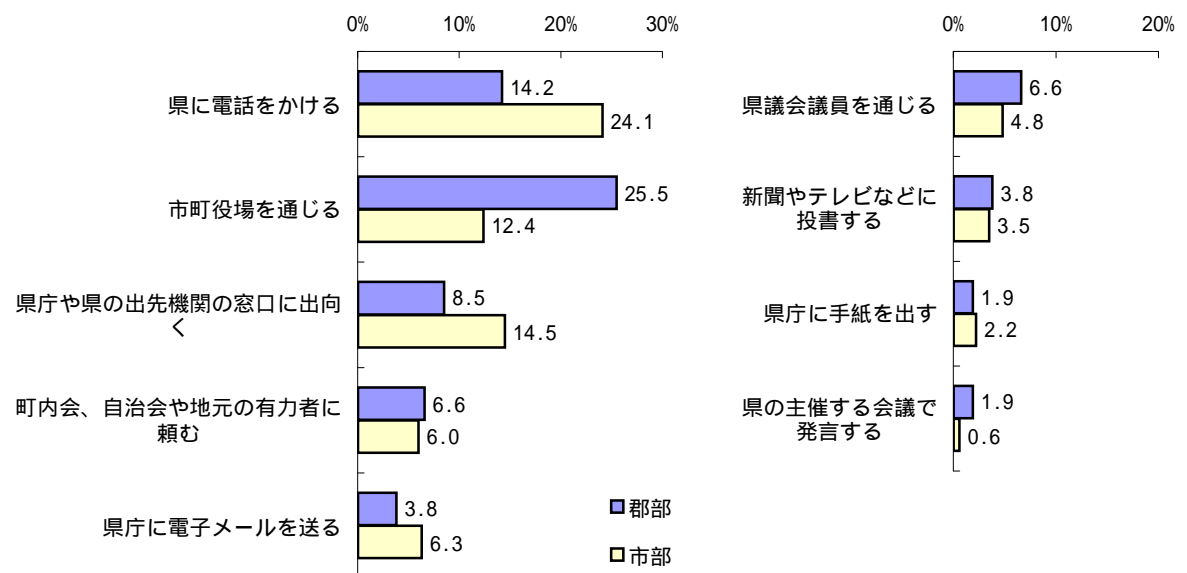
職業別にみると、農林漁業では「市町役場を通じる」と答えた人の割合が高く(28.1%)、自営業、勤め人、主婦、その他では「県に電話をかける」が高くなっており、中でも勤め人は28.0%と特に高い。

また、農林漁業では、「県議会議員を通じる」は他の職業と比較して高くなっており、「県に電話をかける」「県庁や県の出先機関に出向く」「県庁に電子メールを送る」「新聞やテレビなどに投書する」はいずれも低くなっている。



【市郡別】

市郡別にみると、「県に電話をかける」、「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」、「県庁に電子メールを送る」は市部で、「市町役場を通じる」、「町内会、自治会や地元の有力者に頼む」、「県議会議員を通じる」は郡部で多くなっている。



## 問22 県政出前講座の周知度

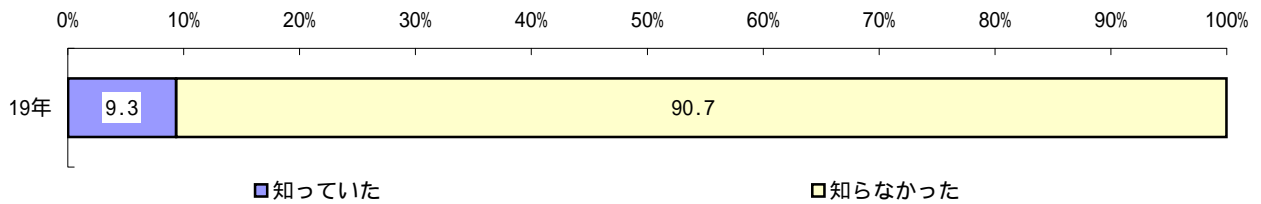
県では、県民の皆様や団体からのご要望に応じ、地域や職場で行われる集会に職員を派遣し、県の施策や事業等をご説明する「県政出前講座」を実施しています。

あなたは、この「県政出前講座」をご存知でしたか。次の中から一つ選んで番号を で 囲んでください。

	(%)
1 知っていた	9.3
2 知らなかった	90.7

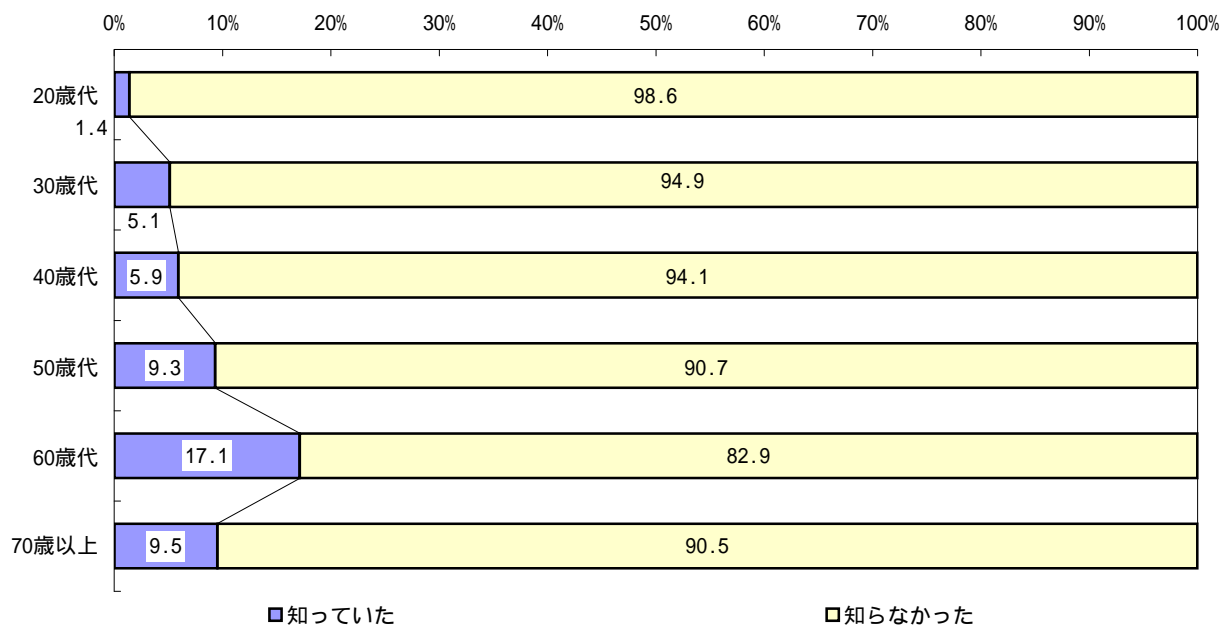
(設問「県政出前講座の周知度」は今回調査から)

県政出前講座について知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えた人の割合は約1割(9.3%)で、残りの約9割(90.7%)は「知らなかった」と答えている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、「知っていた」と答えた人の割合は60歳代で最も高く、「知らなかった」は20歳代で最も高くなっている。



### 問23 県政出前講座を利用したいかどうか

あなたは、この「県政出前講座」を利用したいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

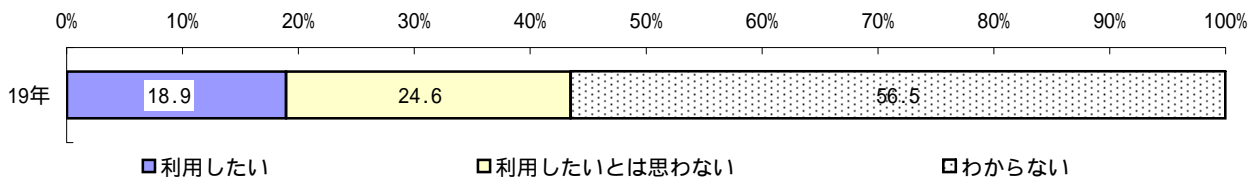
	(%)
1 利用したい	18.9
2 利用したいとは思わない	24.6
3 わからない	56.5

利用したいとは思わない主な理由を、次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(N = 191)	(%)
1 県政に興味がないから		18.3
2 利用したい講座テーマが設定されていないから		4.7
3 設定されている講座テーマを知らないから		14.7
4 講座は難しそうなイメージがあるから		15.2
5 利用する時間がないから		24.6
6 市町が実施している各種の講座を利用しているから		1.6
7 その他		7.3
8 特になし		13.6

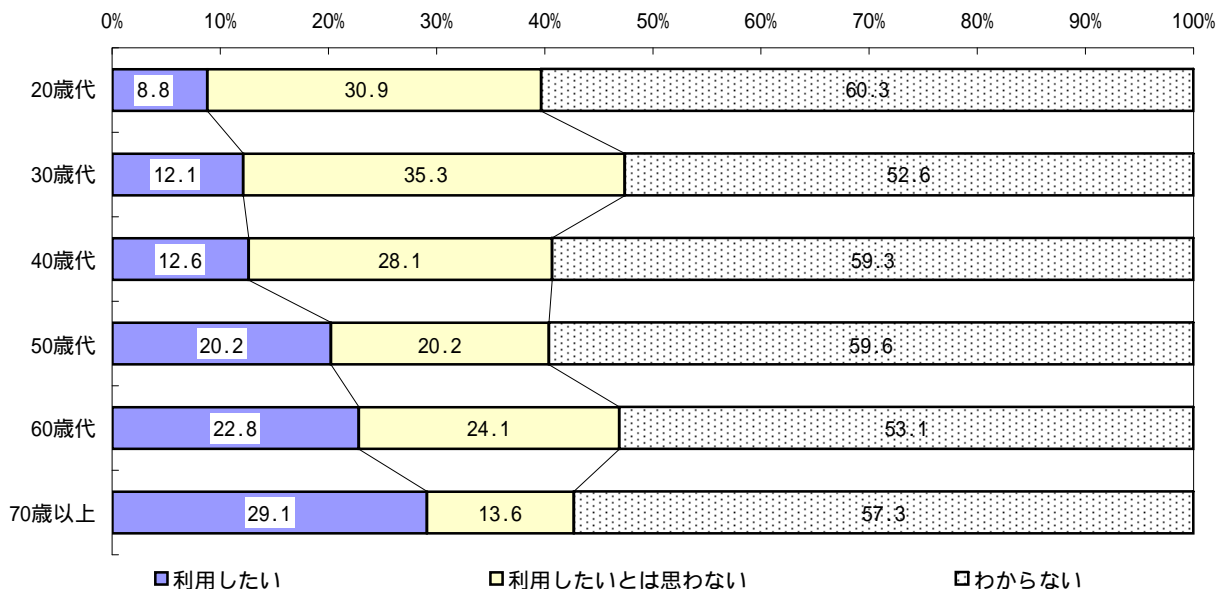
(設問「県政出前講座を利用したいかどうか」は今回調査から)

県政出前講座を利用したいかどうか聞いたところ、「利用したい」と答えた人の割合は18.9%、「利用したいとは思わない」は24.6%となっている。



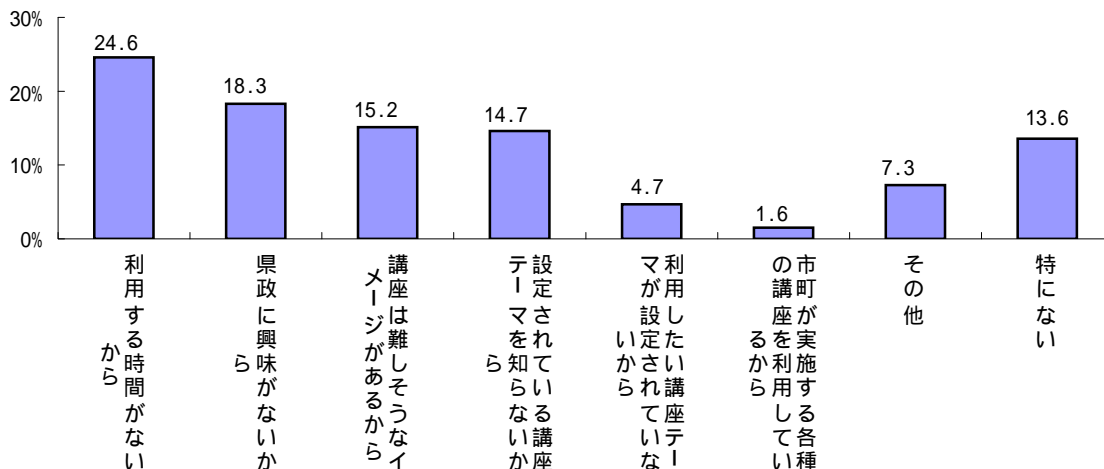
#### 【年齢別】

年齢別にみると、「利用したい」と答えた人の割合は、年齢が上がるに連れて高くなり、70歳以上では29.1%と最も高い。一方、「利用したいとは思わない」は30歳代で最も高くなっている。



### 《利用したいと思わない理由》

利用したいと思わない理由を聞いたところ、「利用する時間がないから」と答えた人の割合が24.6%で最も多く、次いで「県政に興味がないから」（18.3%）、「講座は難しそうなイメージがあるから」（15.2%）、「設定されている講座テーマを知らないから」（14.7%）となっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、30～50歳代では「利用する時間がないから」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、20歳代では「県政に興味がないから」、70歳以上では同項目と「設定されている講座テーマを知らないから」、60歳代では「講座は難しそうなイメージがあるから」がそれぞれ最も多くなっている。

このほか、「県政に興味がないから」は20歳代で38.1%と特に高く、一方「設定されている講座テーマを知らないから」は50歳代で2.6%と特に低い。また、「市町が実施する各種講座を利用しているから」は唯一60歳代で7.7%となっている。

